

# 伊根町まちづくりアンケート調査結果 2021年度

福知山公立大学地域経営学部

佐藤 充

sato-mitsuru@fukuchiyama.ac.jp

## ◆ 調査の概要

### 【目的】

「第6次伊根町総合計画」及び「第2期伊根町まち・ひと・しごと創生地域総合戦略」の進捗を把握するために、伊根町のまちづくりに対する住民の評価や意向を明らかにすること。

### 【対象】

伊根町の全世帯(833世帯)

### 【実施期間】

2021年9月

### 【実施方法】

伊根町行政情報配信システムによるWeb調査

# ◆ まちづくりの柱①

## 誰もが誇れる・ええまち

自然や景観、文化や伝統など先人から受け継いだ財産を、次代へ継承することができるまちづくりを進めます。

### 政策分野 1 地域づくり

【住民主体の持続可能な地域づくり】

- ◎ 主体性のある地域づくり
- ◎ 移住支援

### 政策分野 2 自然環境・景観

【農山漁村景観の保全と継承】

- ◎ 景観保全の取組
- ◎ 自然環境保全の取組

### 政策分野 3 歴史・文化

【文化財の保護と伝統文化の継承】

- ◎ 文化財の保護
- ◎ 伝統文化の継承



## 子育てしやすい・ええまち

次代を担う子ども達が健やかに成長し、安心して子育てすることができる「子育て日本一」のまちづくりを進めます。

### 政策分野 4 子育て

【地域で育む子育て日本一】

- ◎ 子育て環境の充実
- ◎ 保育の充実

### 政策分野 5 教育

【さめ細やかな教育の推進】

- ◎ 学校教育の充実
- ◎ 社会教育の推進
- ◎ 人権を尊重するまちづくりの推進



## 豊かで住みよい・ええまち

農林水産業の6次産業化など支援し、地場産業を振興するとともに、観光関連産業と連携したまちづくりを進めます。

### 政策分野 6 産業振興

【持続可能な農山漁村を目指した農林漁業への支援】

- ◎ 担い手の支援
- ◎ 産業基盤の充実
- ◎ 販路拡大の推進
- ◎ 地産地消の推進
- ◎ 鳥獣被害対策の推進

### 政策分野 7 商工観光

【伊根浦を核としたまち全体が豊かになる観光の推進】

- ◎ 観光地としての伊根浦の創造
- ◎ 誘客対策の強化
- ◎ 連携による相乗効果の創出
- ◎ 事業者の支援
- ◎ 団体の支援
- ◎ 観光基盤施設の管理運営



# ◆ まちづくりの柱②

## ひとが輝く・ええまち

誰もが生きがいや役割を持ち、自分らしく暮らすことができるまちづくりを進めます。

### 政策分野 8 保健

【健康で活き生きとした暮らしの実現】

- ◎ 主体性のある健康づくり
- ◎ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

### 政策分野 9 福祉

【住み慣れた地域で自分らしく】

- ◎ 高齢者等の包括的支援
- ◎ 障害のある人への支援
- ◎ 権利擁護の推進
- ◎ 担い手の要請
- ◎ 生きがいの創出

### 政策分野 10 医療

【地域で安心して暮らせる医療体制の充実】

- ◎ 医療体制の充実
- ◎ 救急医療体制の確保



## 暮らしやすい・ええまち

豊かな自然環境を守りながら生活の質を維持向上させ、安心安全に暮らせるまちづくりを進めます。

### 政策分野 11 消防・防災

【防災まちづくり】

- ◎ 消防力の維持・強化
- ◎ 防災施設等の整備
- ◎ 防災力の向上

### 政策分野 12 社会インフラ

(1)生活インフラ

【安定した上下水道事業の運営と適正なごみ処理】◎ 水道の安定供給 ◎ 循環型社会の推進 ◎ 生活排水の適正処理 ◎ 適正なごみ処理の推進 ◎ し尿等の適正処理

(2)交通インフラ

【安心安全な道路と公共交通の確保】

- ◎ 町道の整備と維持管理
- ◎ 国府道・高規格幹線
- ◎ 公共交通の確保
- ◎ 道路の整備促進

(3)住宅インフラ

【住宅の供給と空き家対策】

- ◎ 住宅の供給

### 政策分野 13 情報インフラ

【スマートタウン伊根町】

- ◎ 情報インフラの活用



## 開かれた・ええまち

今ある行政資源を最大限、効果効率的に活用し、質の高い行政サービスを提供できるまちづくりを進めます。

### 政策分野 14 財政運営

【持続可能な財政運営】

- ◎ 健全な財政の堅持

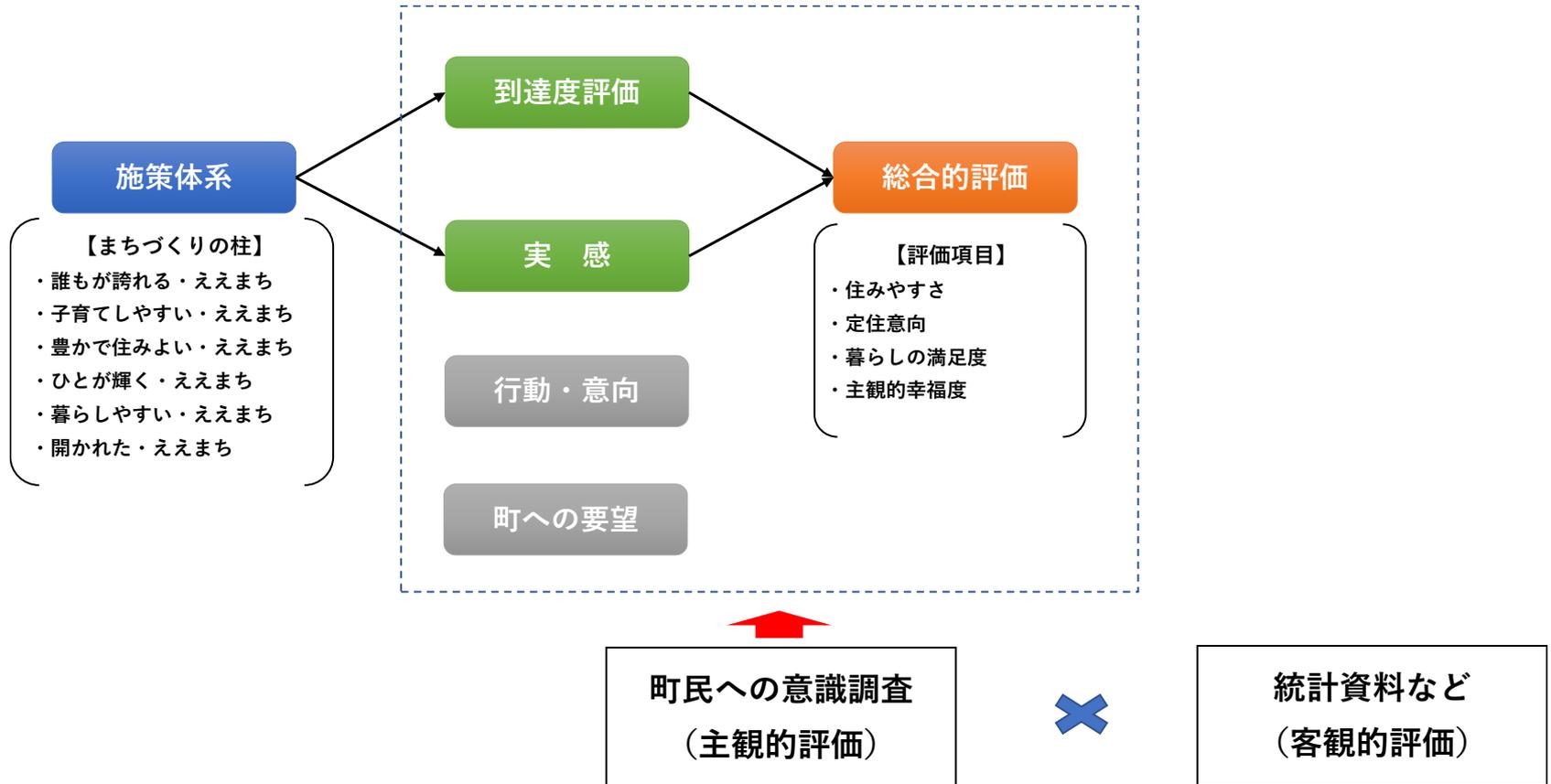
### 政策分野 15 行政

【活き生き頑張る行政】

- ◎ 職員の能力向上
- ◎ 適正な行政運営
- ◎ 事業評価の実施
- ◎ 広報の充実



# ◆ 設問項目の体系図



# ◆ 本調査の設問項目①

設問タイプ	まちづくりの柱	設問文
町民による 到達度評価	誰もが誇れる・ええまち	伊根町は、他の地域に誇れる町であると思いますか？
	子育てしやすい・ええまち	伊根町は、子育てしやすい町であると思いますか？
		伊根町は、生涯にわたって学習できる環境が整っている町であると思いますか？
		伊根町は、文化活動やスポーツに取り組みやすい町であると思いますか？
	豊かで住みよい・ええまち	伊根町は、経済的な豊かさを感じられる町であると思いますか？
	ひとが輝く・ええまち	伊根町は、安心して医療サービスを受けることができる町であると思いますか？
伊根町は、高齢者や障害者への福祉サービスが充実している町であると思いますか？		
暮らしやすい・ええまち	伊根町は、生活インフラ（道路・上下水道・公共交通等）が整備されている町であると思いますか？	
	伊根町は、防災・防犯等の観点から安全・安心な町であると思いますか？	
町民の実感	誰もが誇れる・ええまち	あなたは、伊根町で暮らすことに誇りや愛着を感じますか？
	子育てしやすい・ええまち	あなたは、お住まいの地域に、子育て家庭に対する理解や協力の雰囲気があると感じますか？
	豊かで住みよい・ええまち	あなたは、生活に必要な所得や収入を得られていると感じていますか？
		あなたは、心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？
		あなたは、お住まいの地域の方と交流することで充実感を感じますか？
	ひとが輝く・ええまち	あなたは、お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？
あなたは、買い物や移動などで不便なく日々の生活を送ることができていると感じますか？		
暮らしやすい・ええまち	あなたは、暮らしに必要な町の情報を入手することができていると感じますか？	
	あなたは、地区や地域活動などに関わっていますか？	
町民の 行動・意向	誰もが誇れる・ええまち	あなたは、伊根町の自然環境や景観を大切にしたいと思いますか？
		あなたは、伊根町の文化財や伝統文化を守り、受け継ぎたいと思いますか？
		あなたは、余暇時間に、文化活動や学習活動等に取り組んでいますか？
	子育てしやすい・ええまち	あなたは、伊根町に観光者が訪れることを歓迎していますか？
	豊かで住みよい・ええまち	あなたは、行政と一緒に、伊根町のまちづくりに取り組みたいと思いますか？
開かれた・ええまち	あなたが伊根町で暮らしていくために、下記の取り組みのうち、特に必要に思うことはありますか？（該当するものはいくつでも）	
町への要望	開かれた・ええまち	あなたが伊根町で暮らしていくために、下記の取り組みのうち、特に必要に思うことはありますか？（該当するものはいくつでも）

## ◆ 本調査の設問項目②

### 【総合的評価(アウトカム指標)】

#### 住みやすさ

あなたにとって、伊根町は  
住みやすい場所ですか？

#### 定住意向

あなたは、これからも伊根町  
で暮らし続けたいですか？

#### 生活の主観的満足度

あなたは、現在の生活にどの  
程度満足していますか？

(0-10点評価・11件法)

※内閣府調査を参照

#### 主観的幸福度

現在、あなたはどの程度幸せ  
ですか？

(0-10点評価・11件法)

※兵庫県川西市調査を参照

## ◆ 回答者の概要①

【回答者数 115件／回収率 13.8%】

【年代】

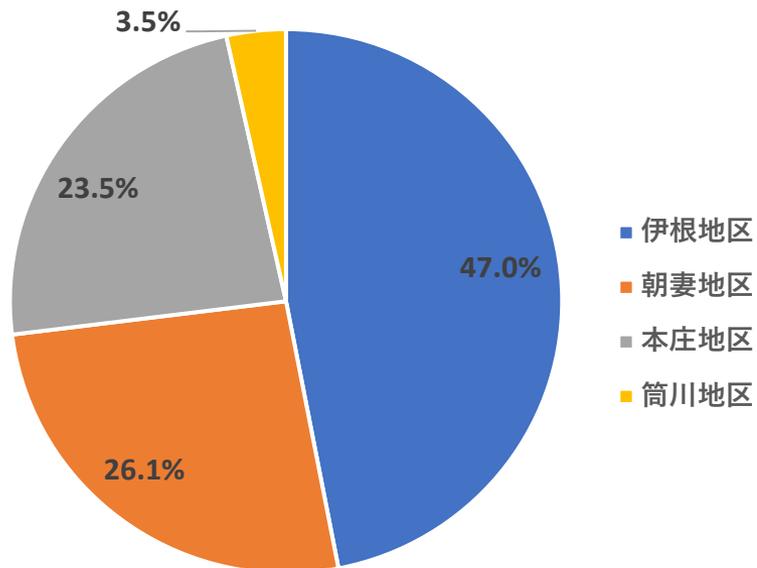
	度数	構成比
10代	2	1.7%
20代	3	2.6%
30代	16	13.9%
40代	16	13.9%
50代	23	20.0%
60代	21	18.3%
70代	30	26.1%
80代以上	4	3.5%
合計	115	100.0%



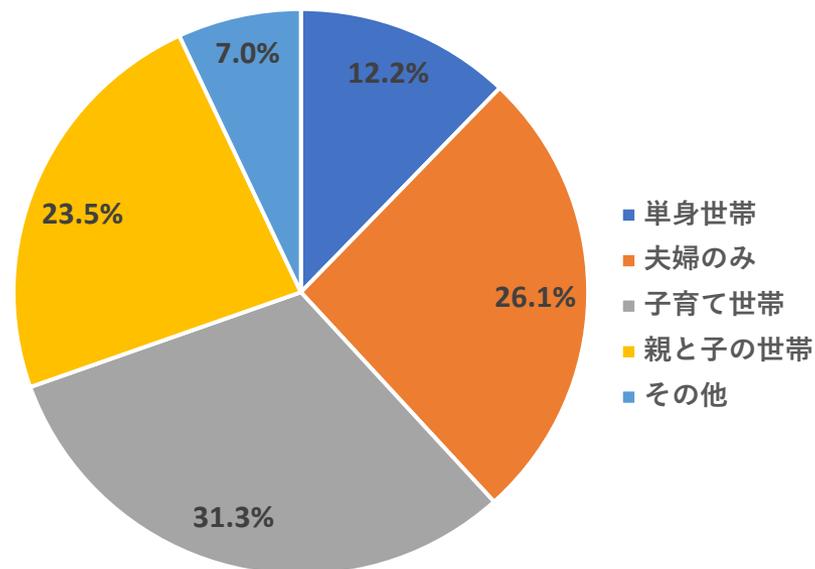
	度数	構成比
30代以下	21	18.3%
40代	16	13.9%
50代	23	20.0%
60代	21	18.3%
70代以上	34	29.6%
合計	115	100.0%

## ◆ 回答者の概要②

### 【居住地区】



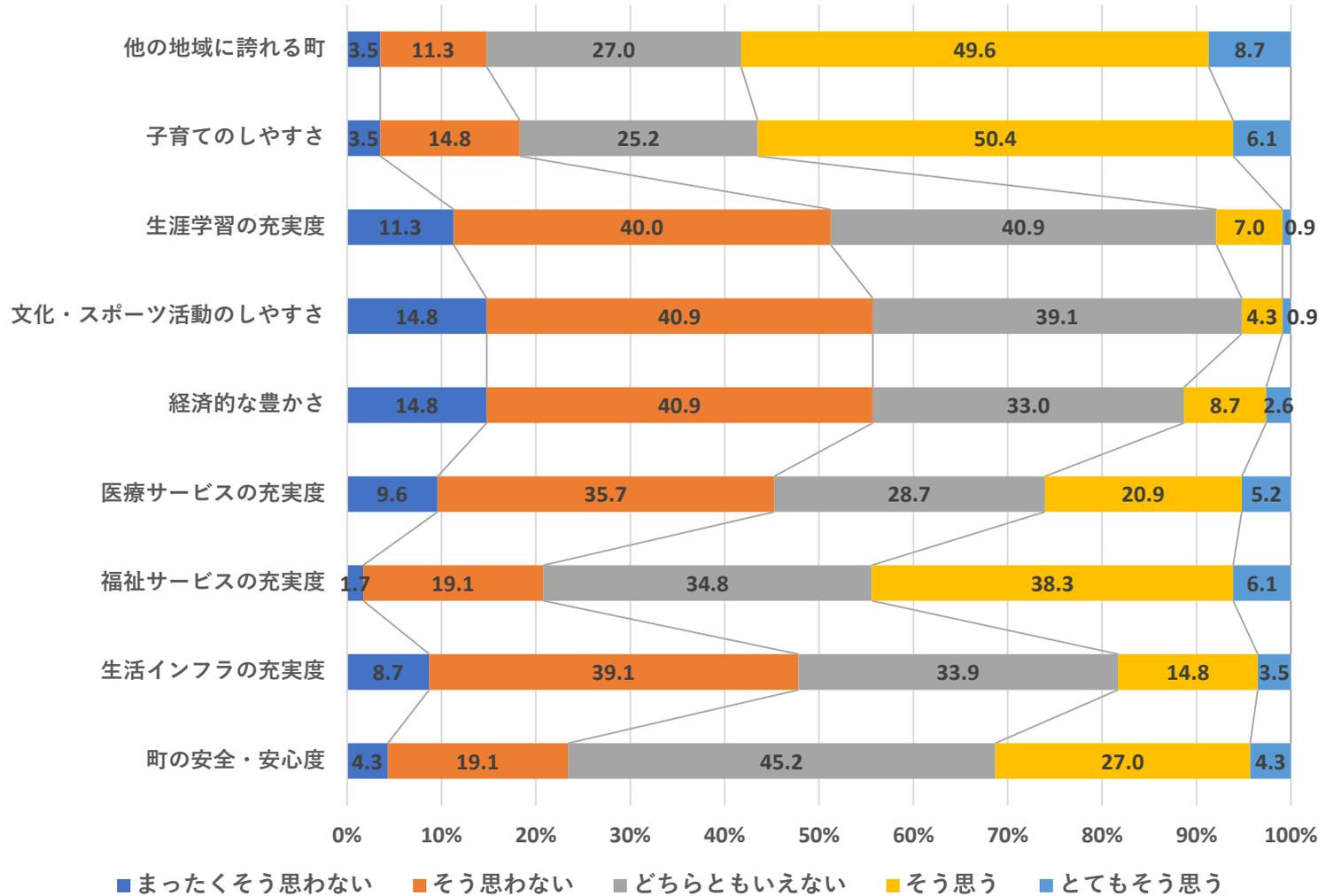
### 【世帯類型】



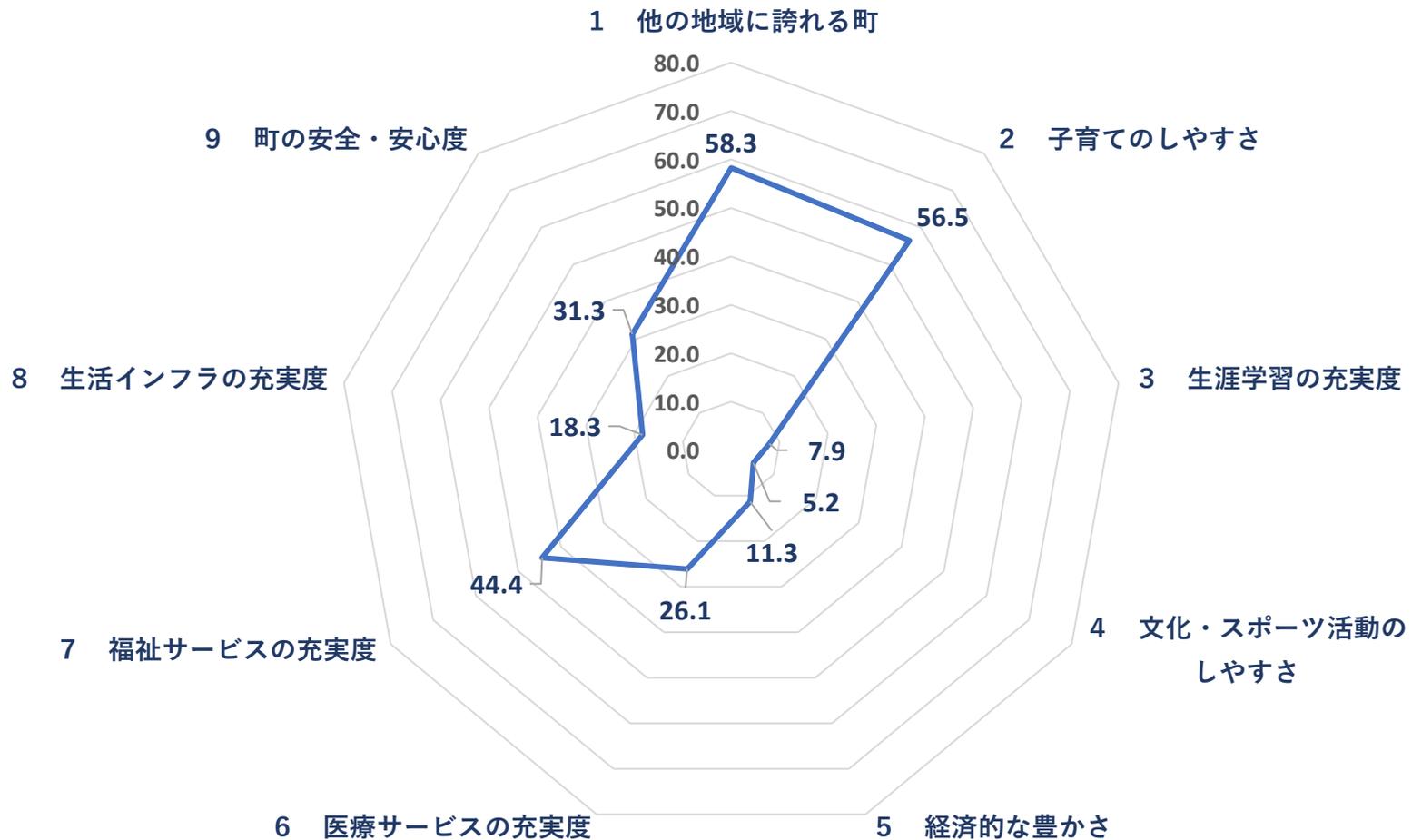
## ◆ 回答者の概要③

年代区分	単身世帯	夫婦のみ	子育て世帯	親と子の世帯	その他	合計
30代以下	2	1	14	1	3	21
40代	2	1	12	1	0	16
50代	0	4	3	12	4	23
60代	1	9	4	7	0	21
70代以上	9	15	3	6	1	34
合計	14	30	36	27	8	115

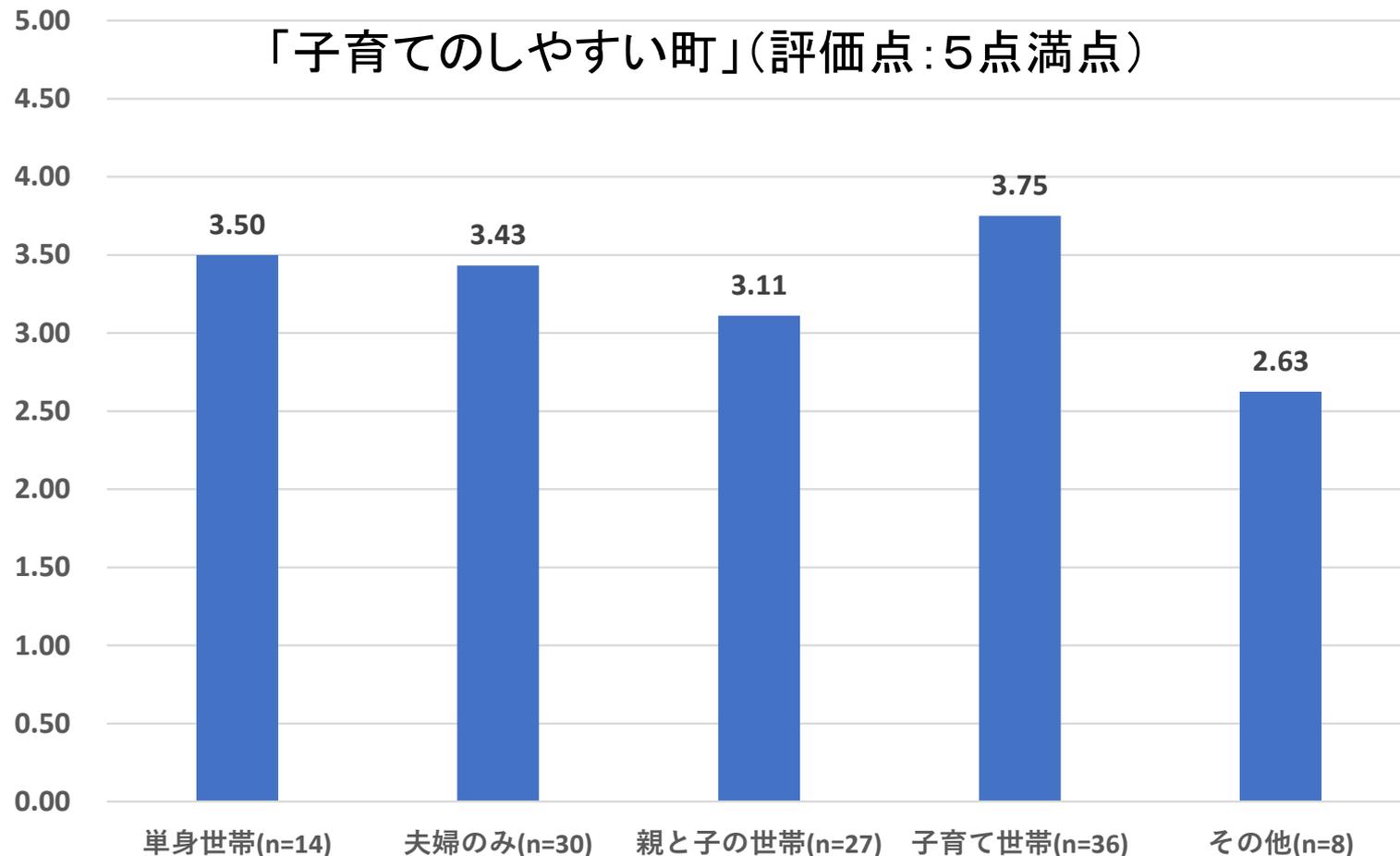
# ◆ 到達度の評価① (n=115)



# ◆ 到達度の評価② (n=115)

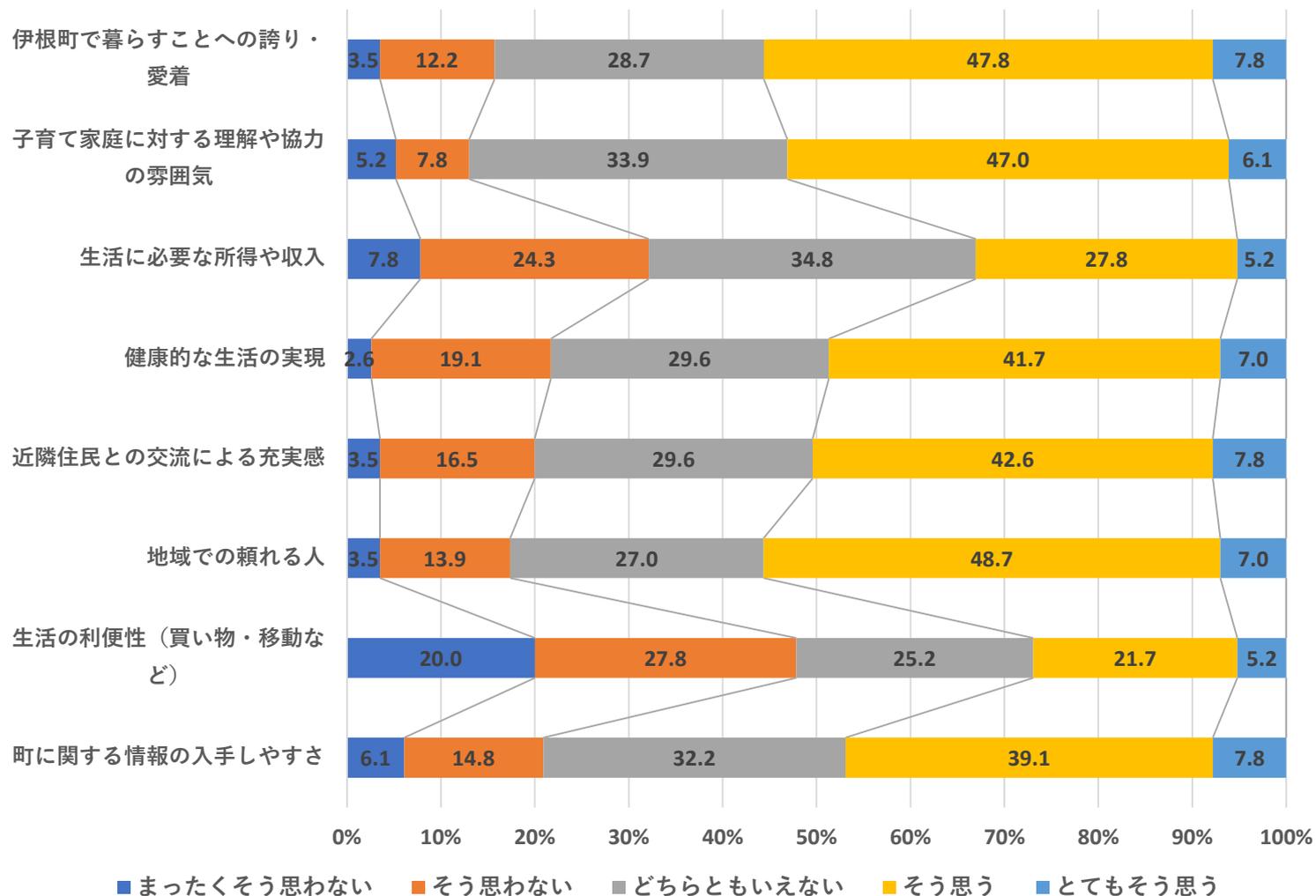


## ◆ 到達度の評価③

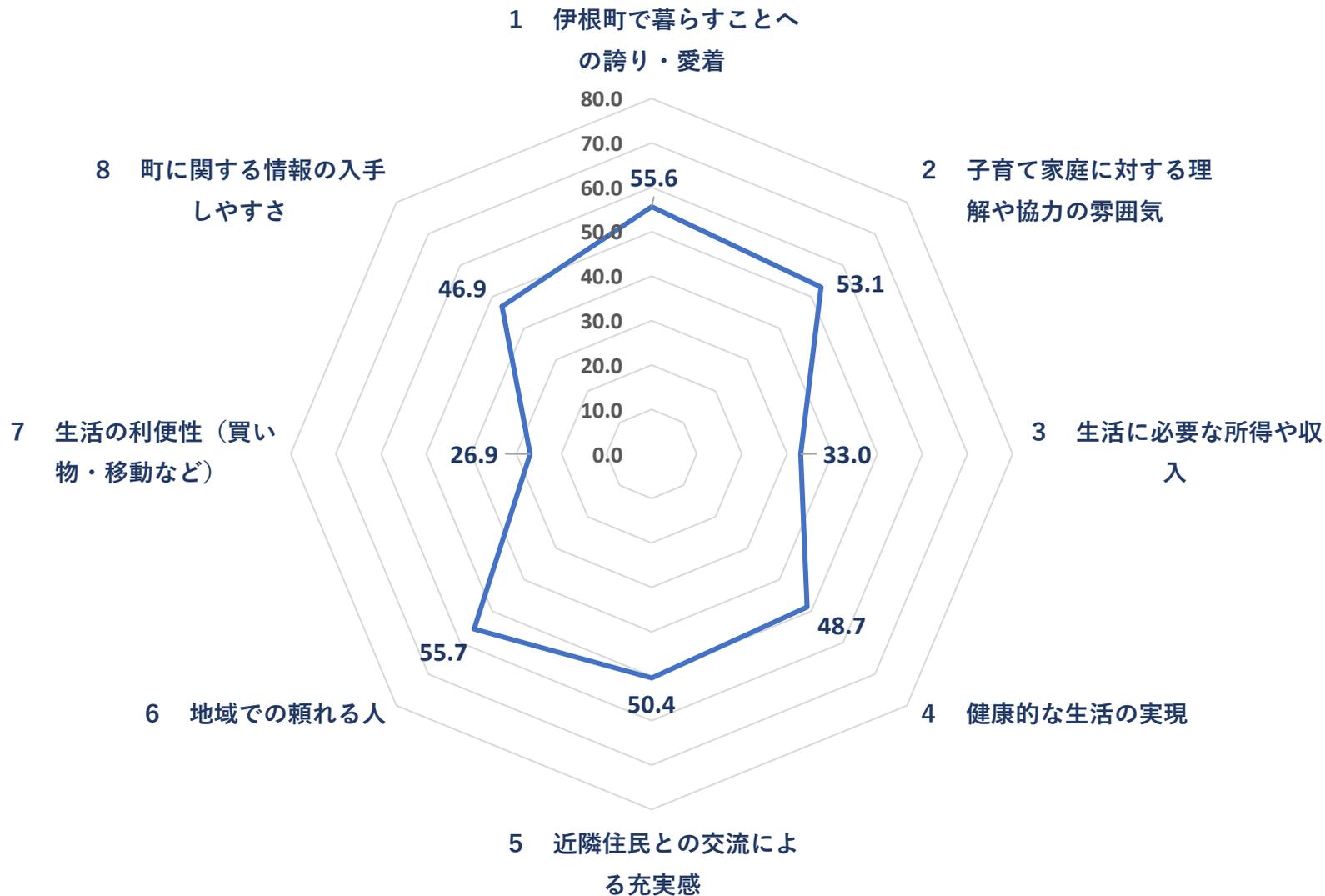


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差 ( $p < .001$ ) が認められた。)

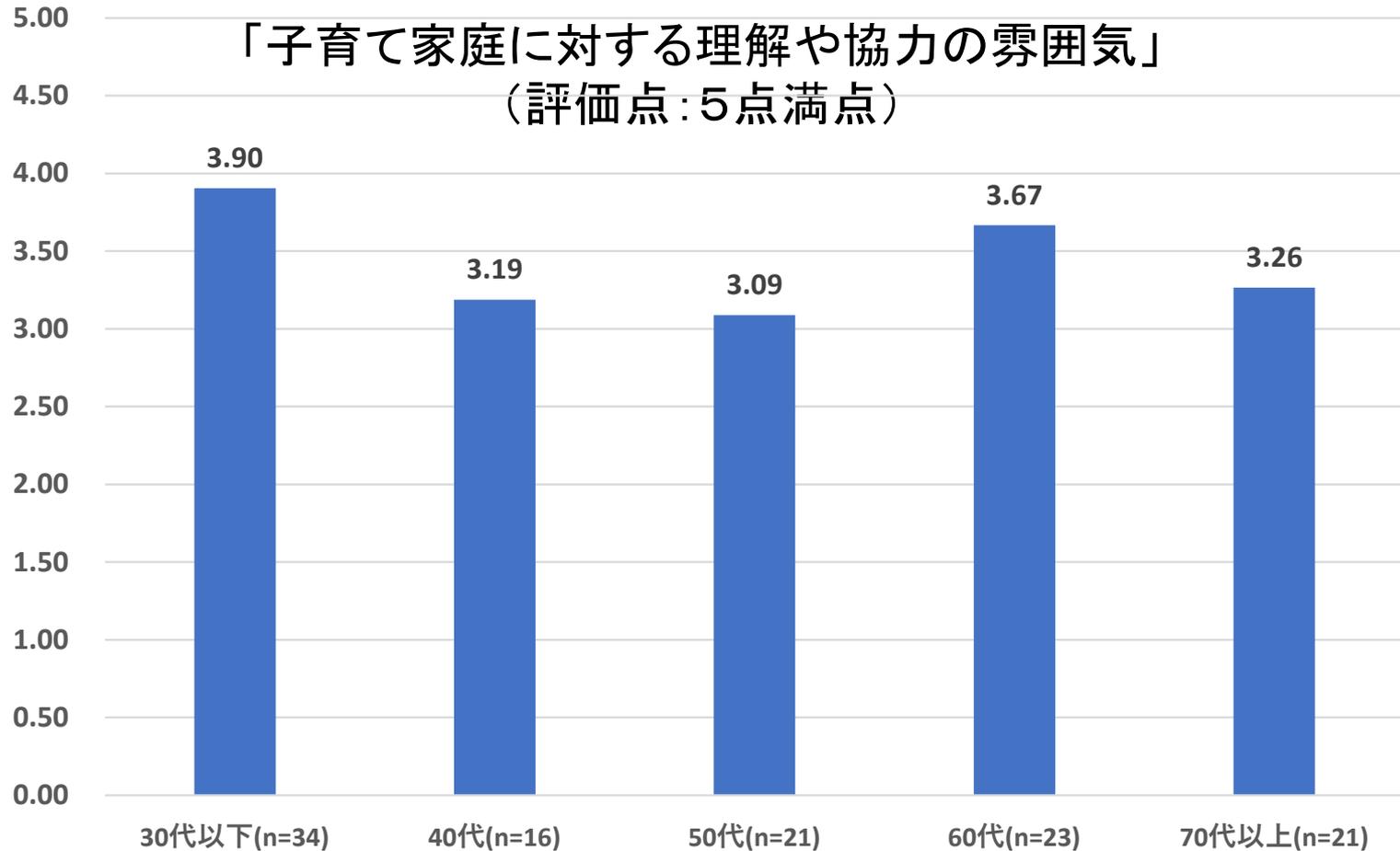
# ◆ 町民の実感① (n=115)



# ◆ 町民の実感② (n=115)

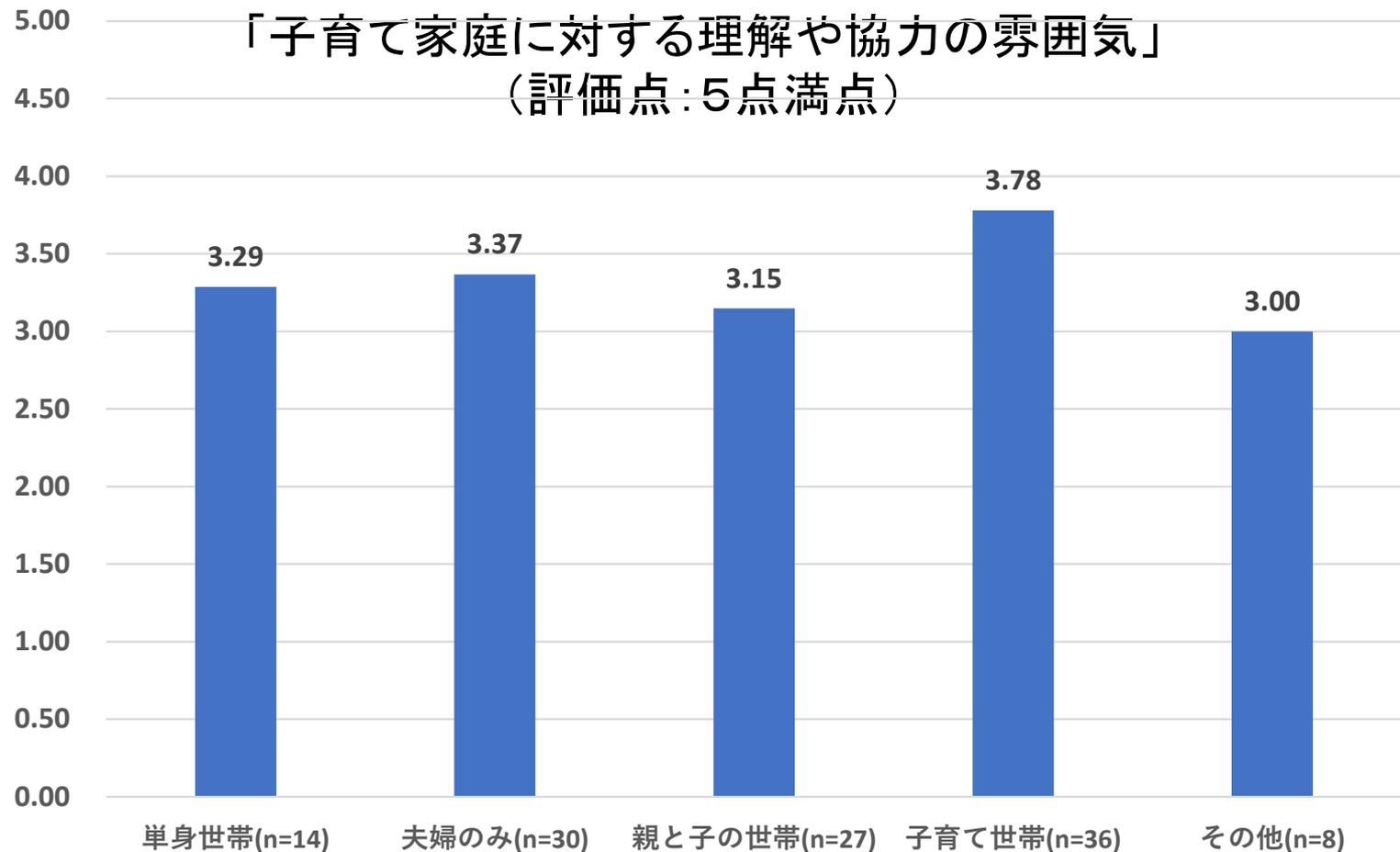


## ◆ 町民の実感③



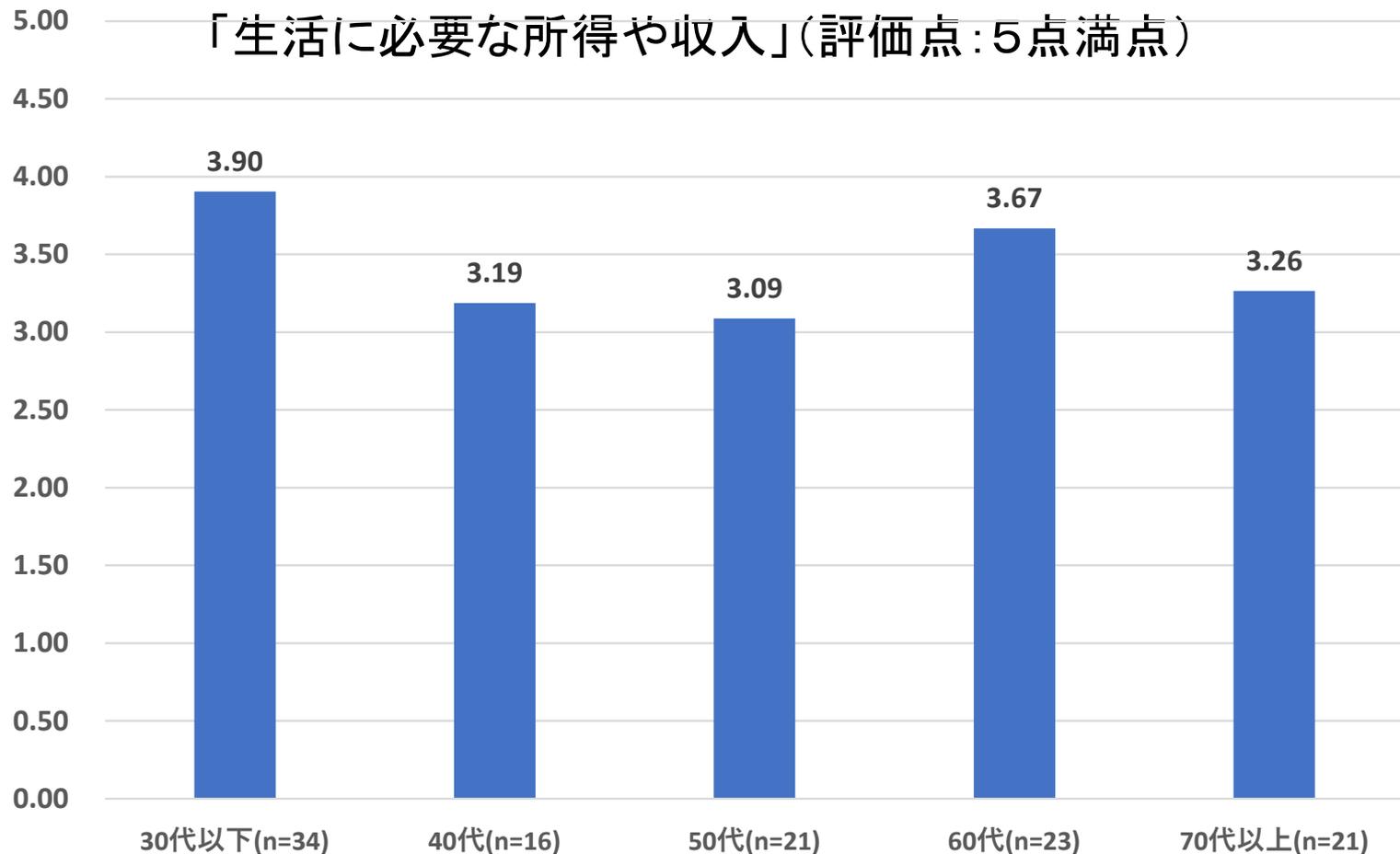
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、年代の間に有意差 ( $p < .01$ ) が認められた。)

## ◆ 町民の実感④



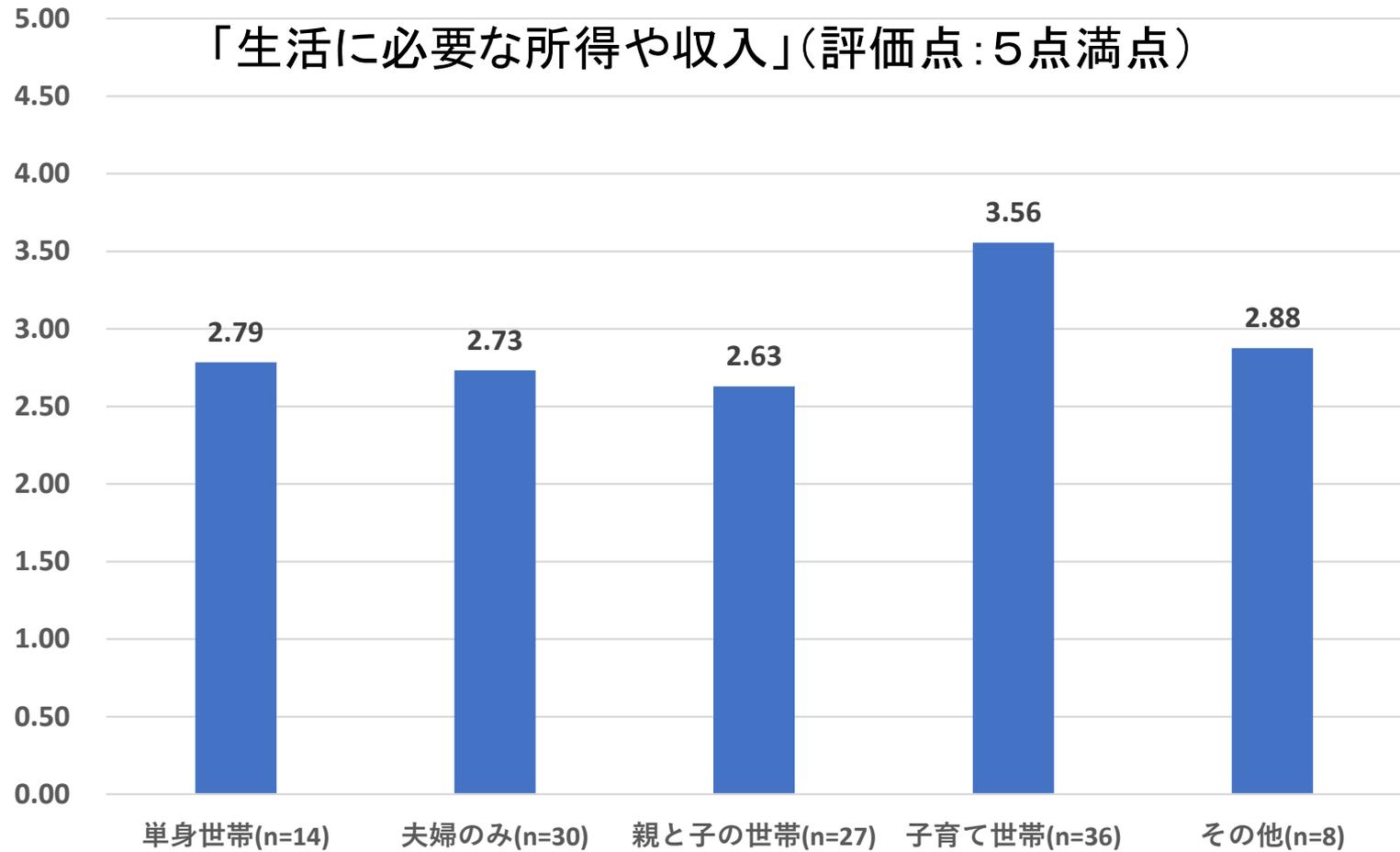
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差 ( $p < .05$ ) が認められた。)

## ◆ 町民の実感⑤



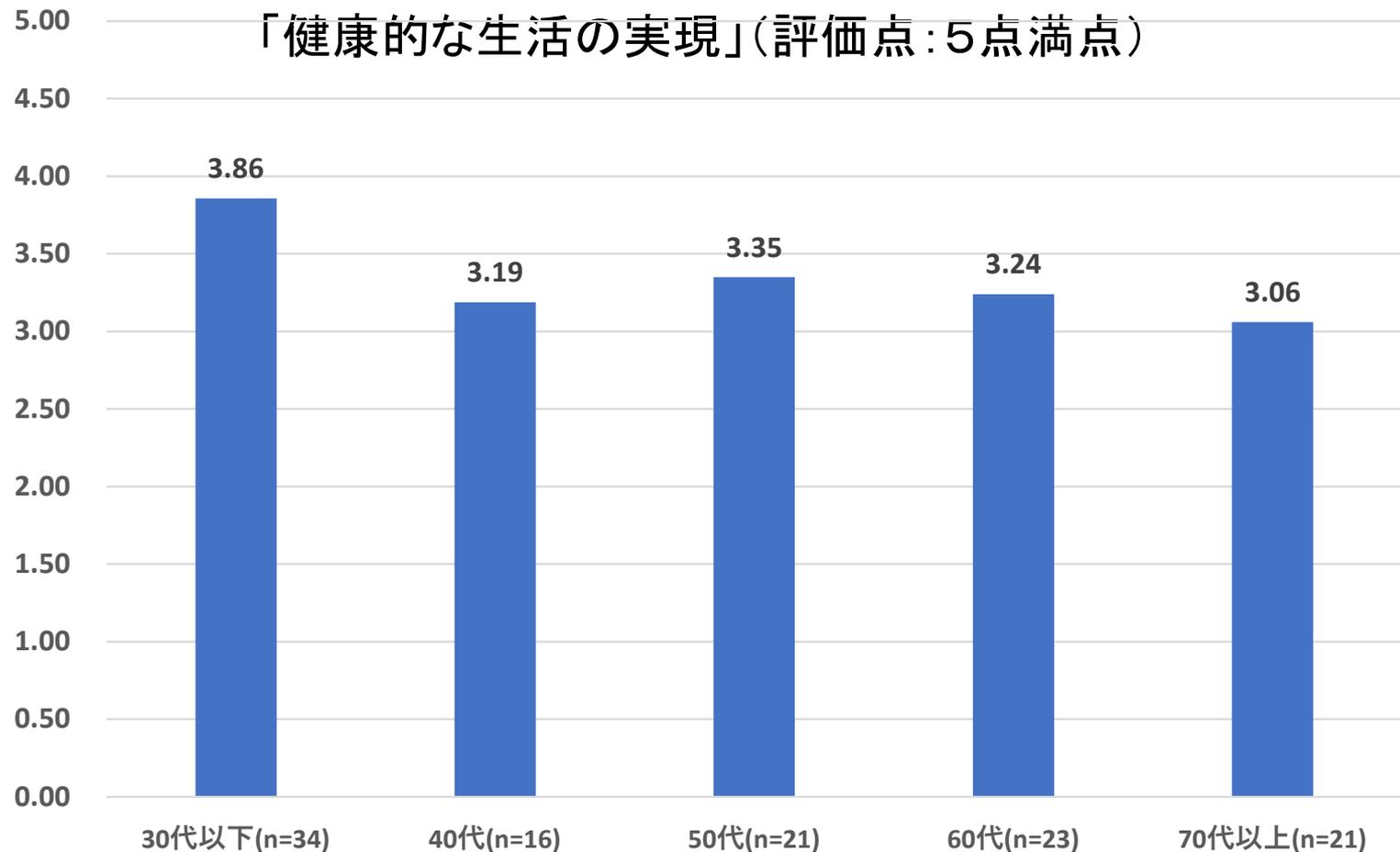
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、年代の間に有意差( $p < .01$ )が認められた。)

## ◆ 町民の実感⑥



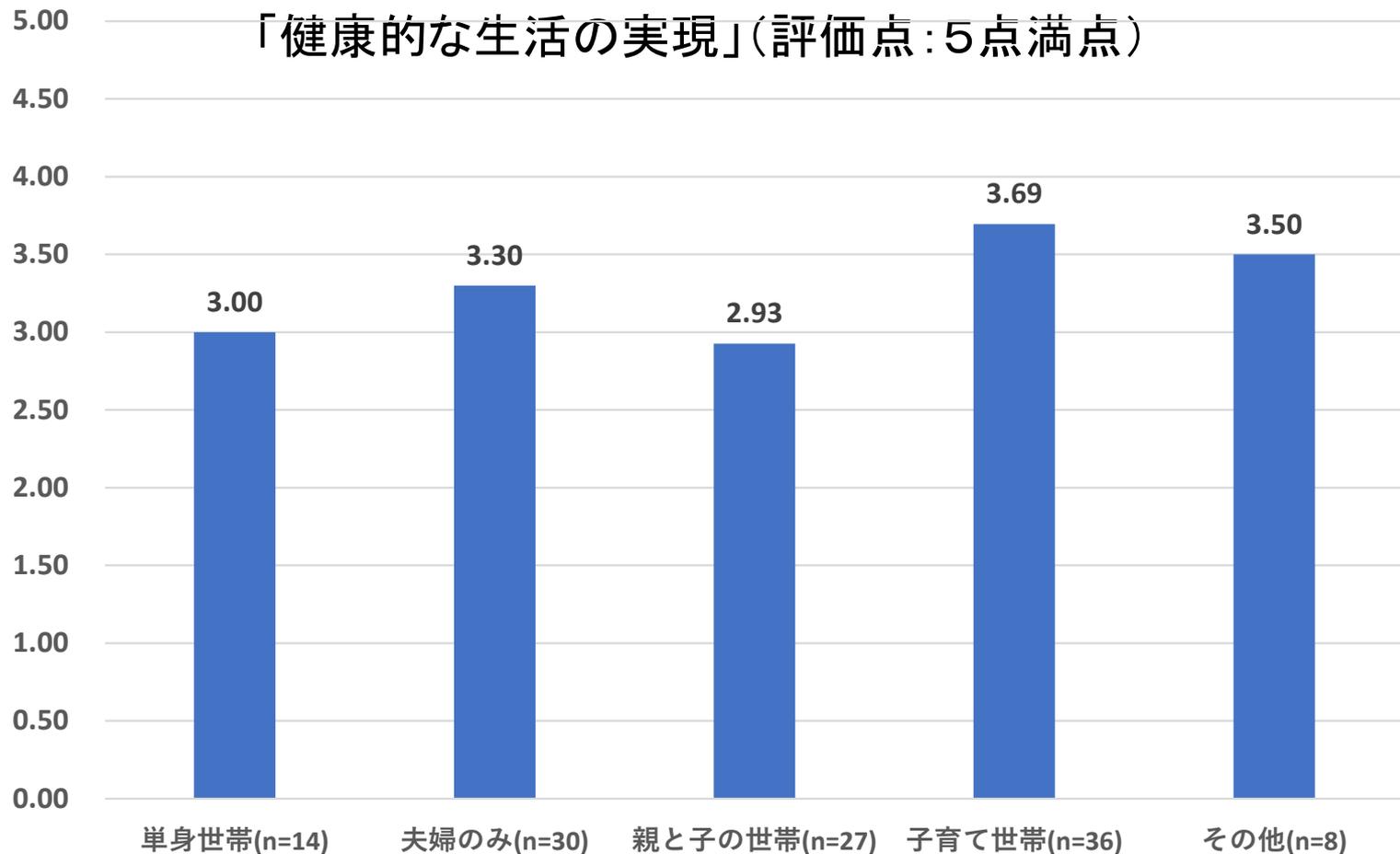
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差( $p < .01$ )が認められた。)

## ◆ 町民の実感⑦



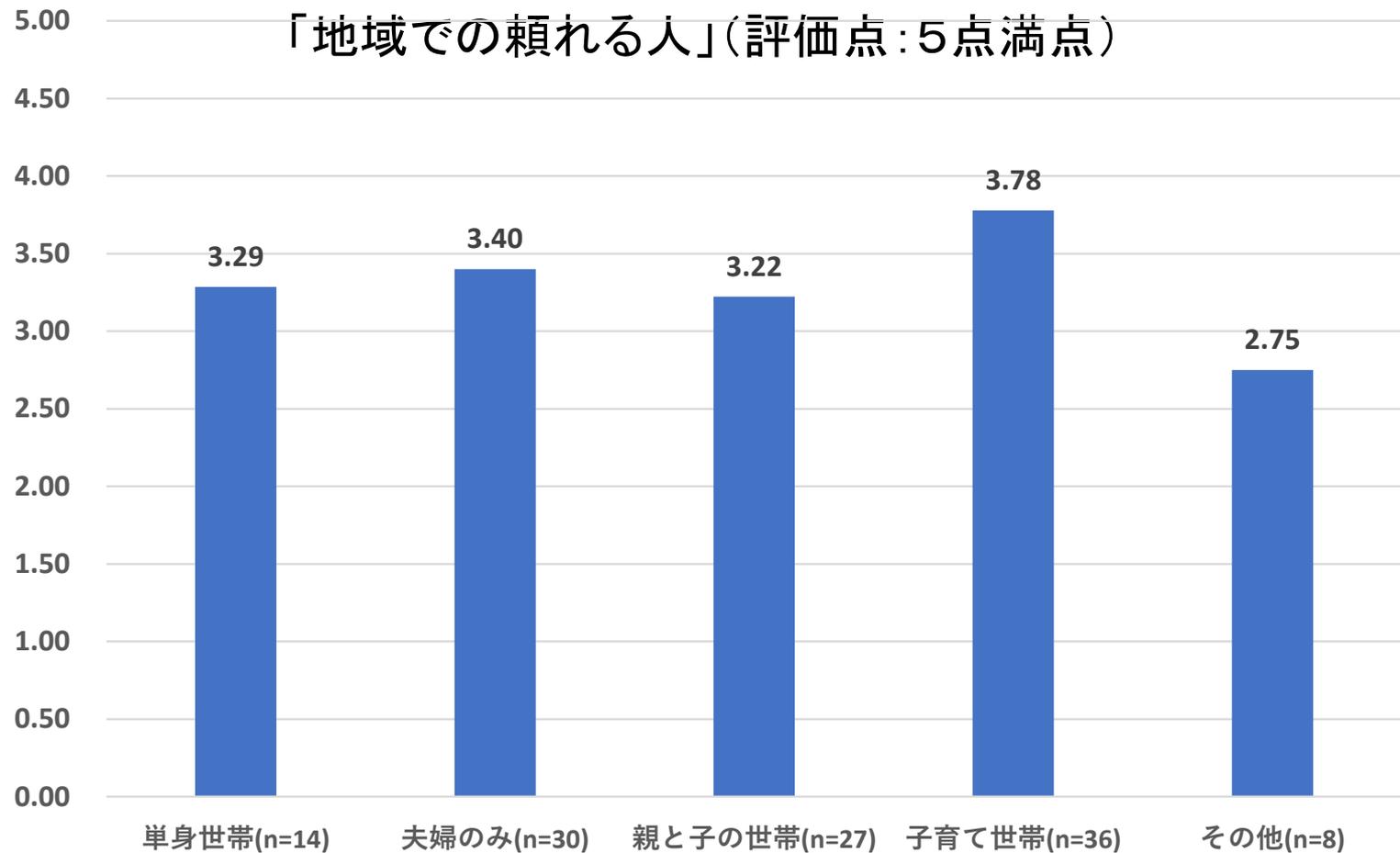
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、年代の間に有意差( $p < .05$ )が認められた。)

## ◆ 町民の実感⑧



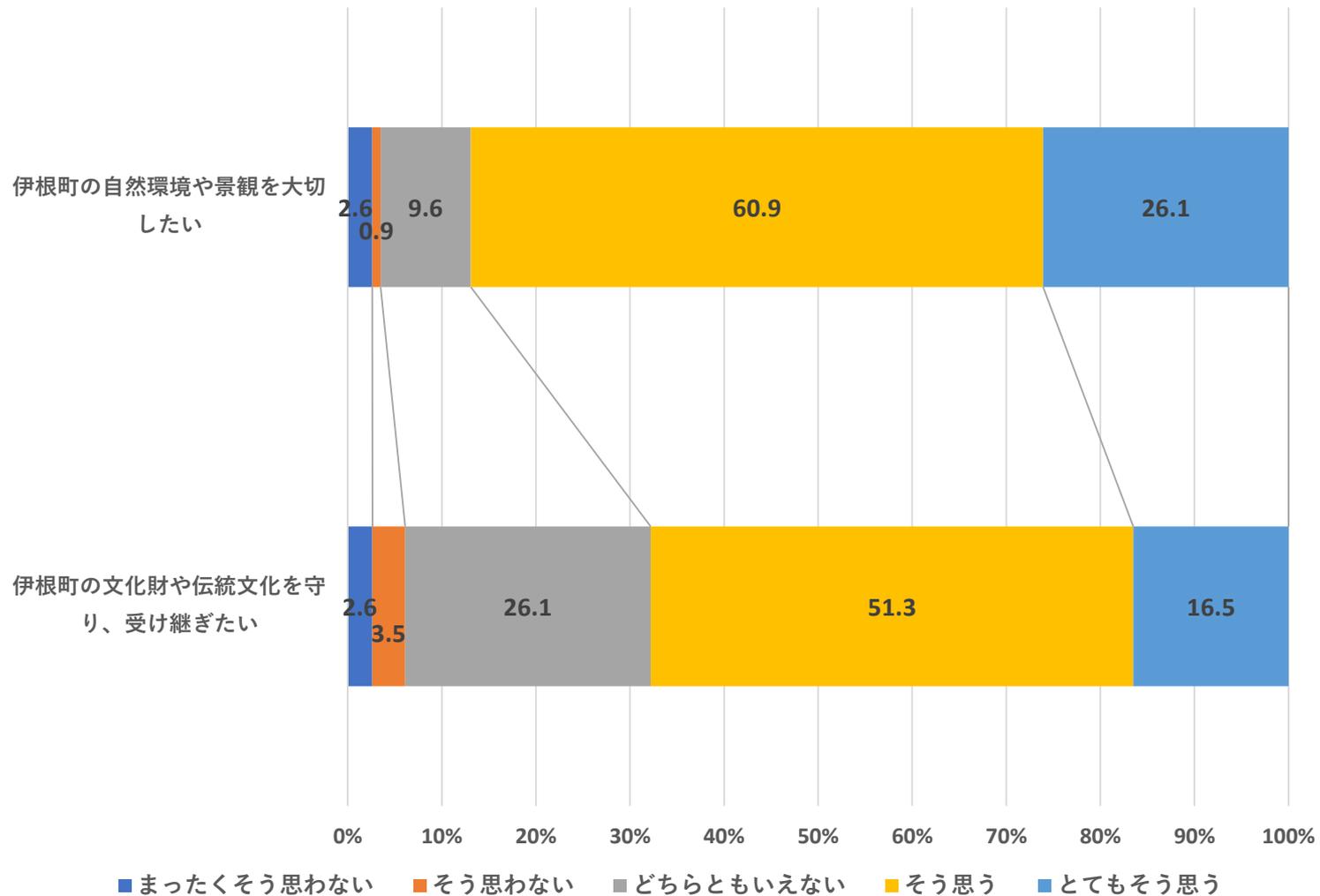
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差( $p < .05$ )が認められた。)

## ◆ 町民の実感⑨

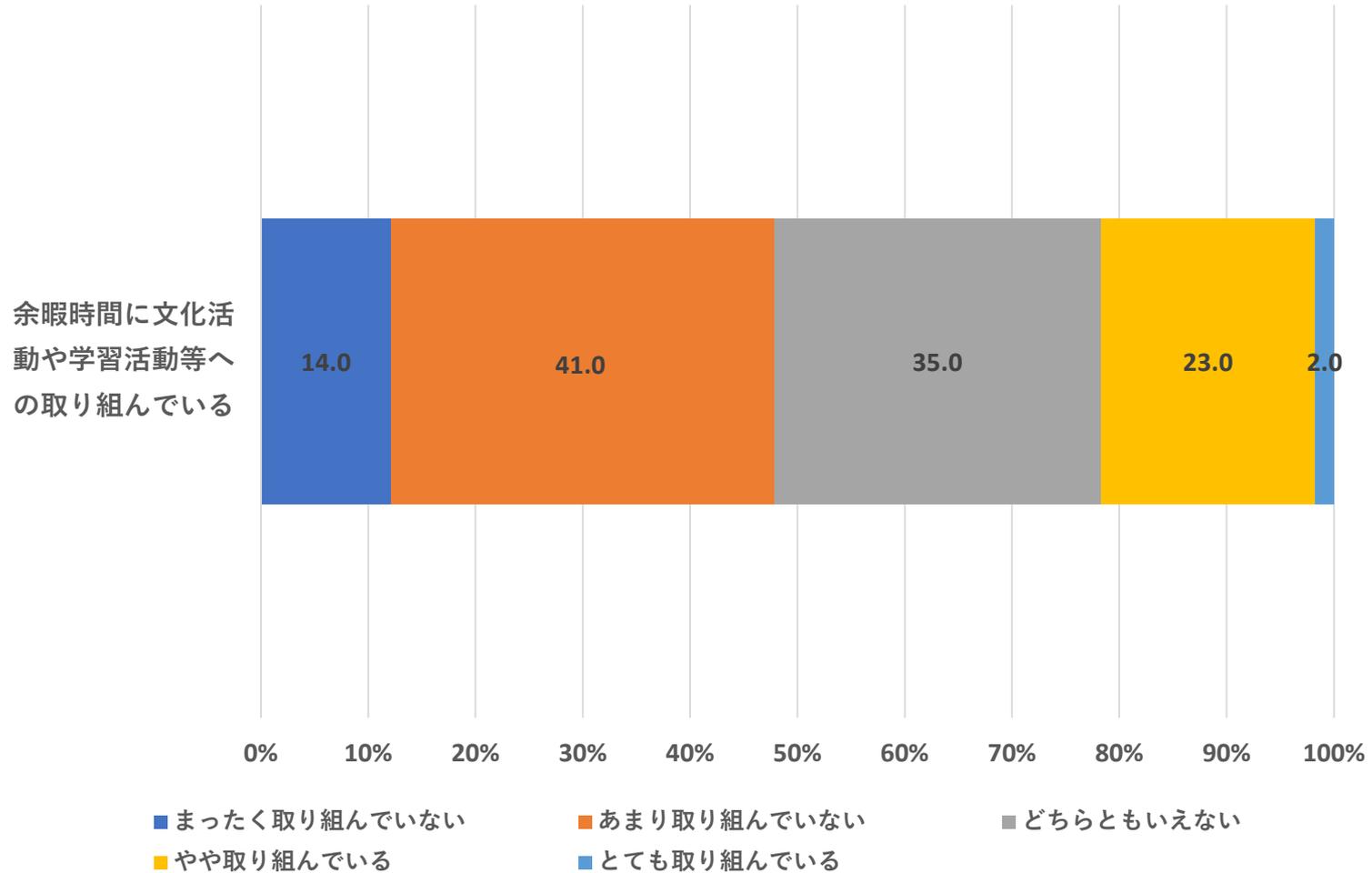


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差( $p < .05$ )が認められた。)

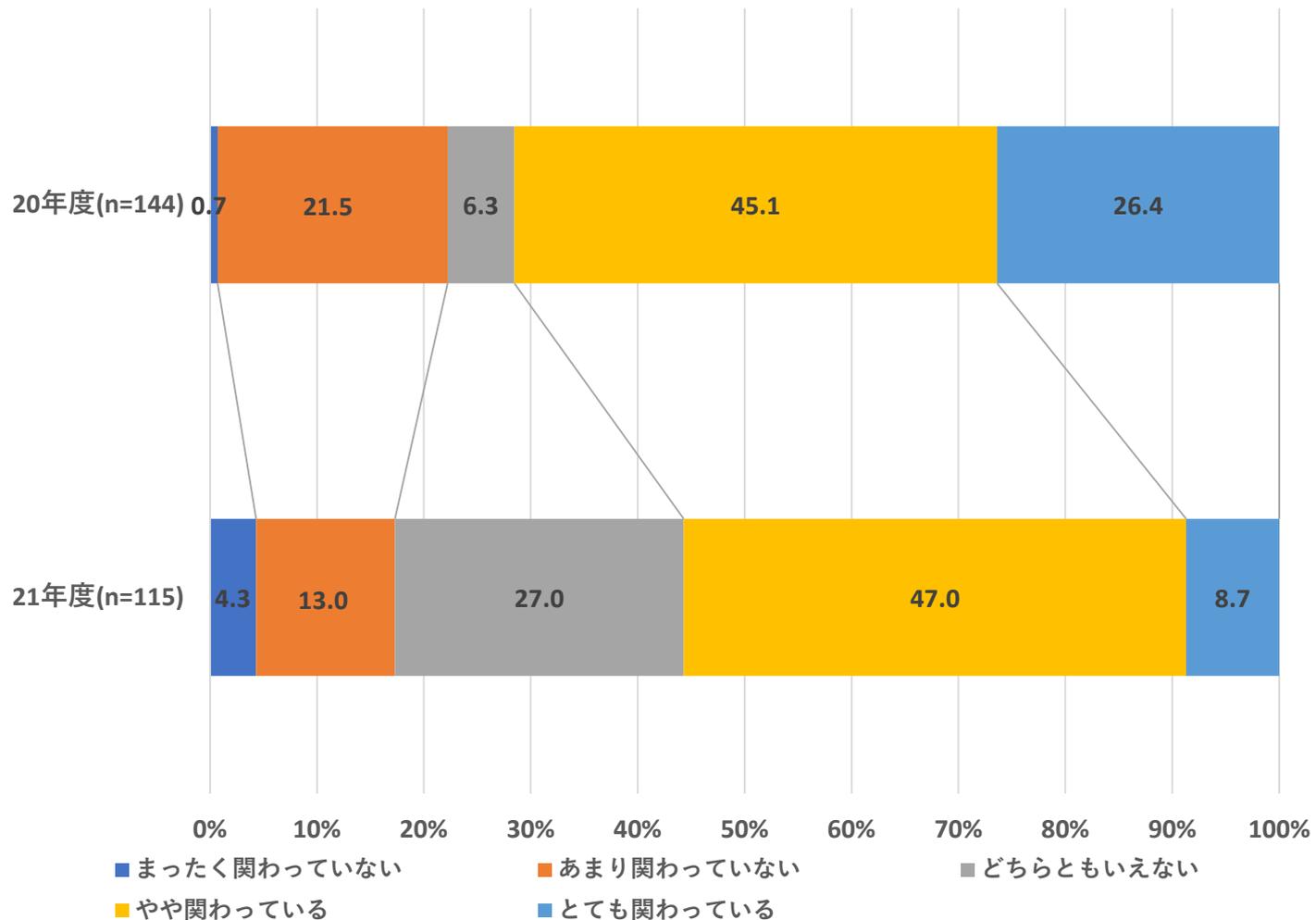
# ◆ 自然・文化に対する考え方 (n=115)



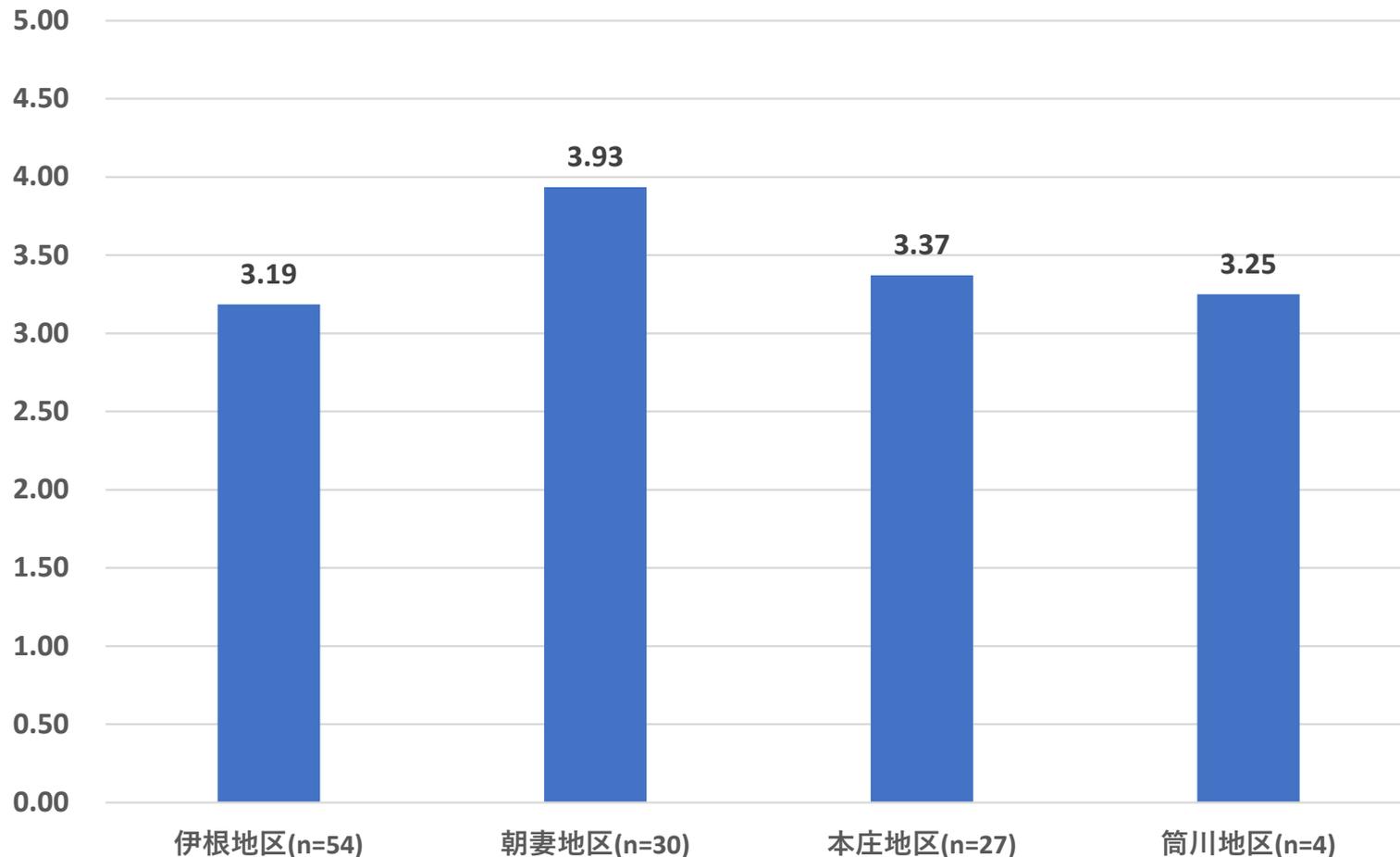
# ◆ 文化・学習活動の取り組み度(n=115)



# ◆ 地区・地域活動への関与度①

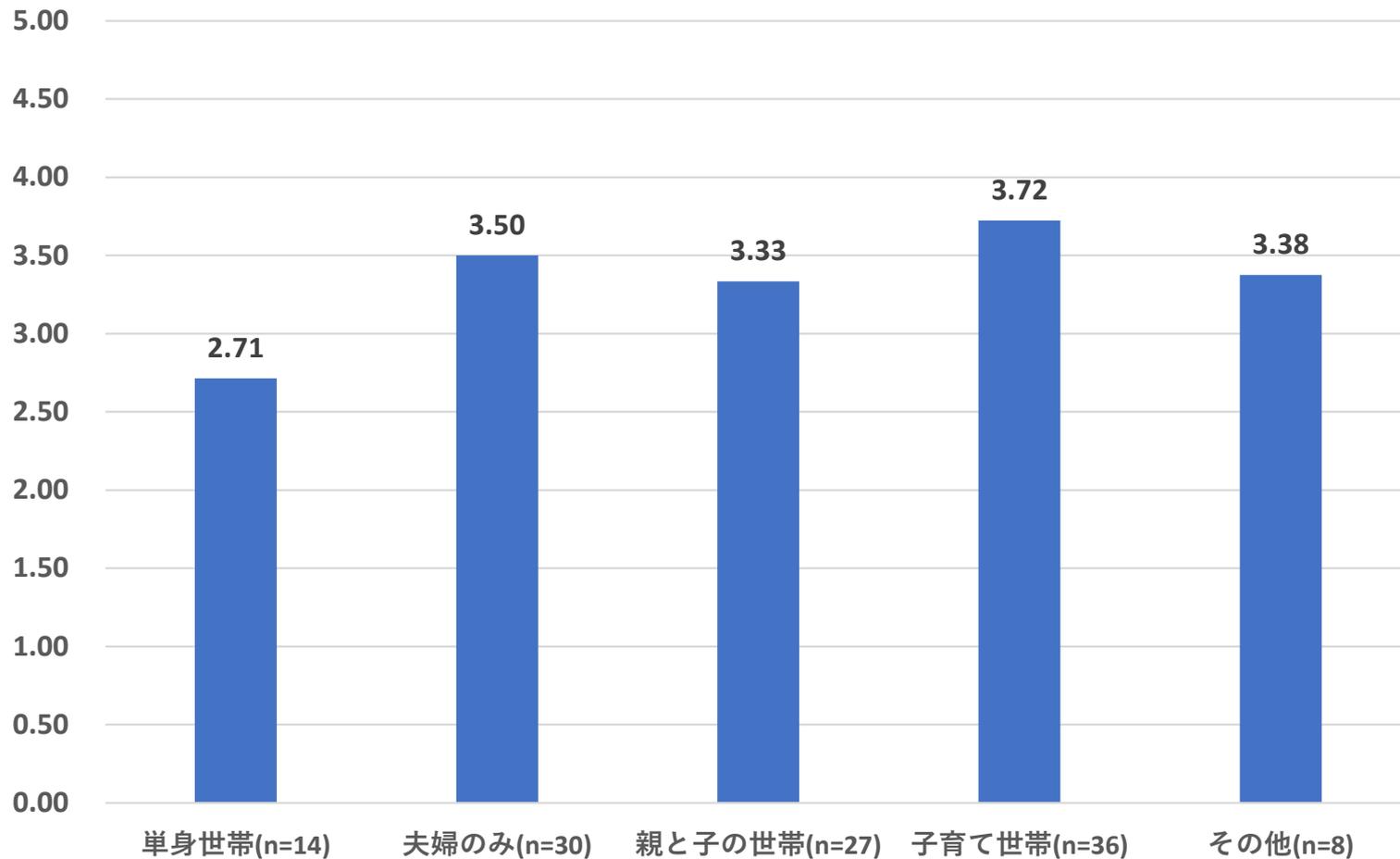


## ◆ 地区・地域活動への関与度② (評価点:5点満点)



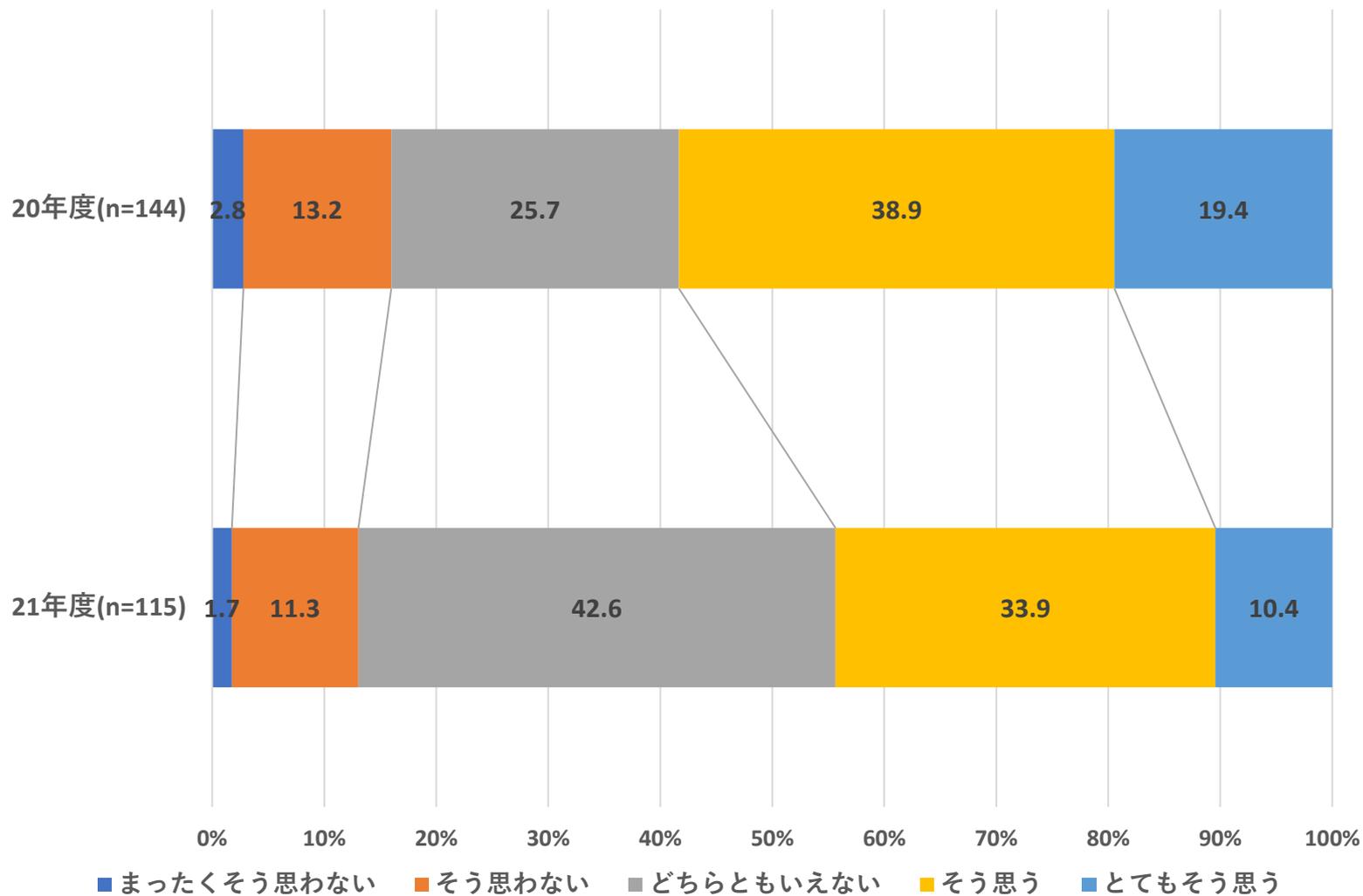
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、居住地区の間に有意差 ( $p < .01$ ) が認められた。)

## ◆ 地区・地域活動への関与度③ (評価点:5点満点)

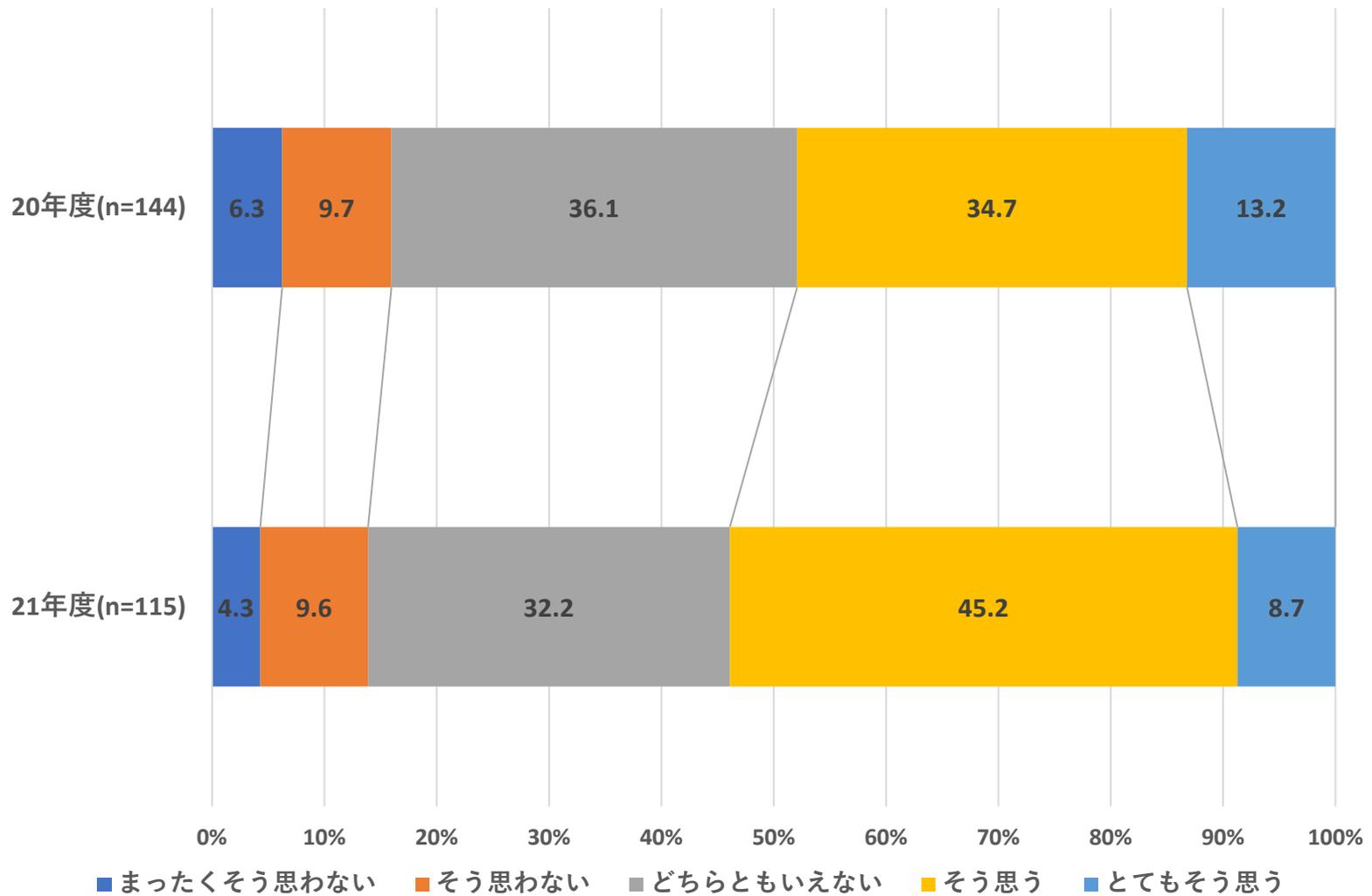


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差 ( $p < .05$ ) が認められた。)

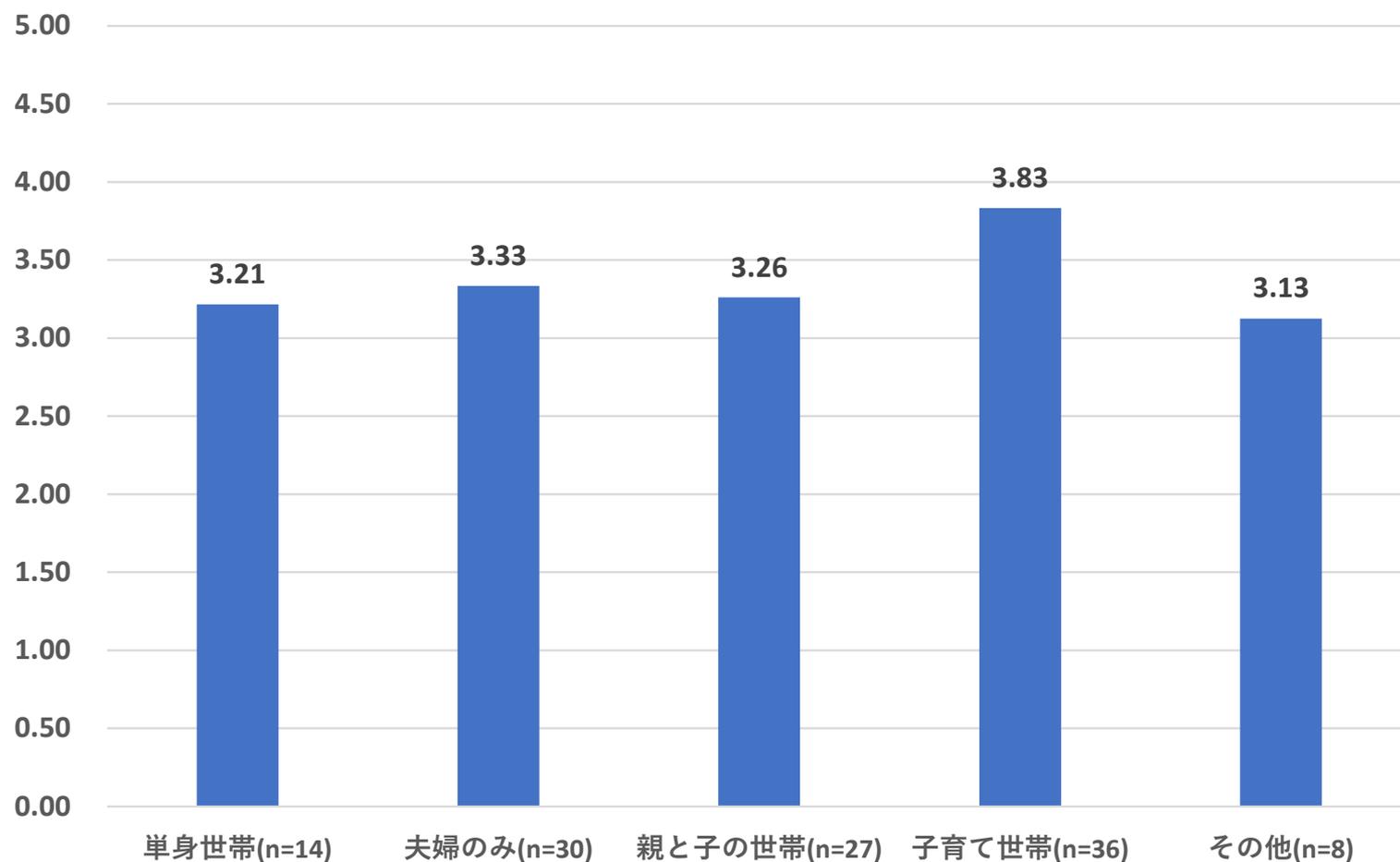
## ◆ 観光者の歓迎意向



# ◆ 行政との協働意向①

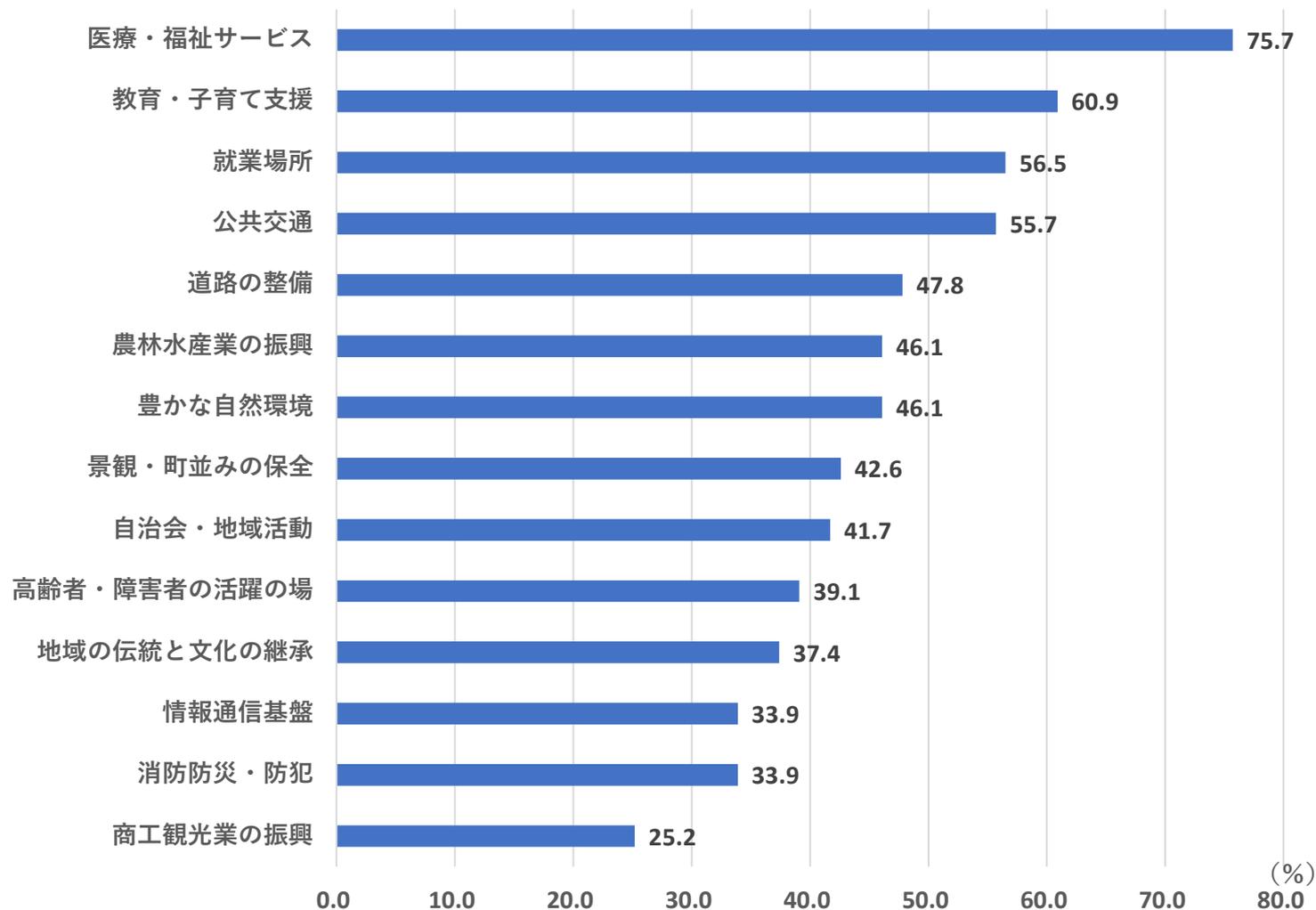


## ◆ 行政との協働意向②(評価点:5点満点)



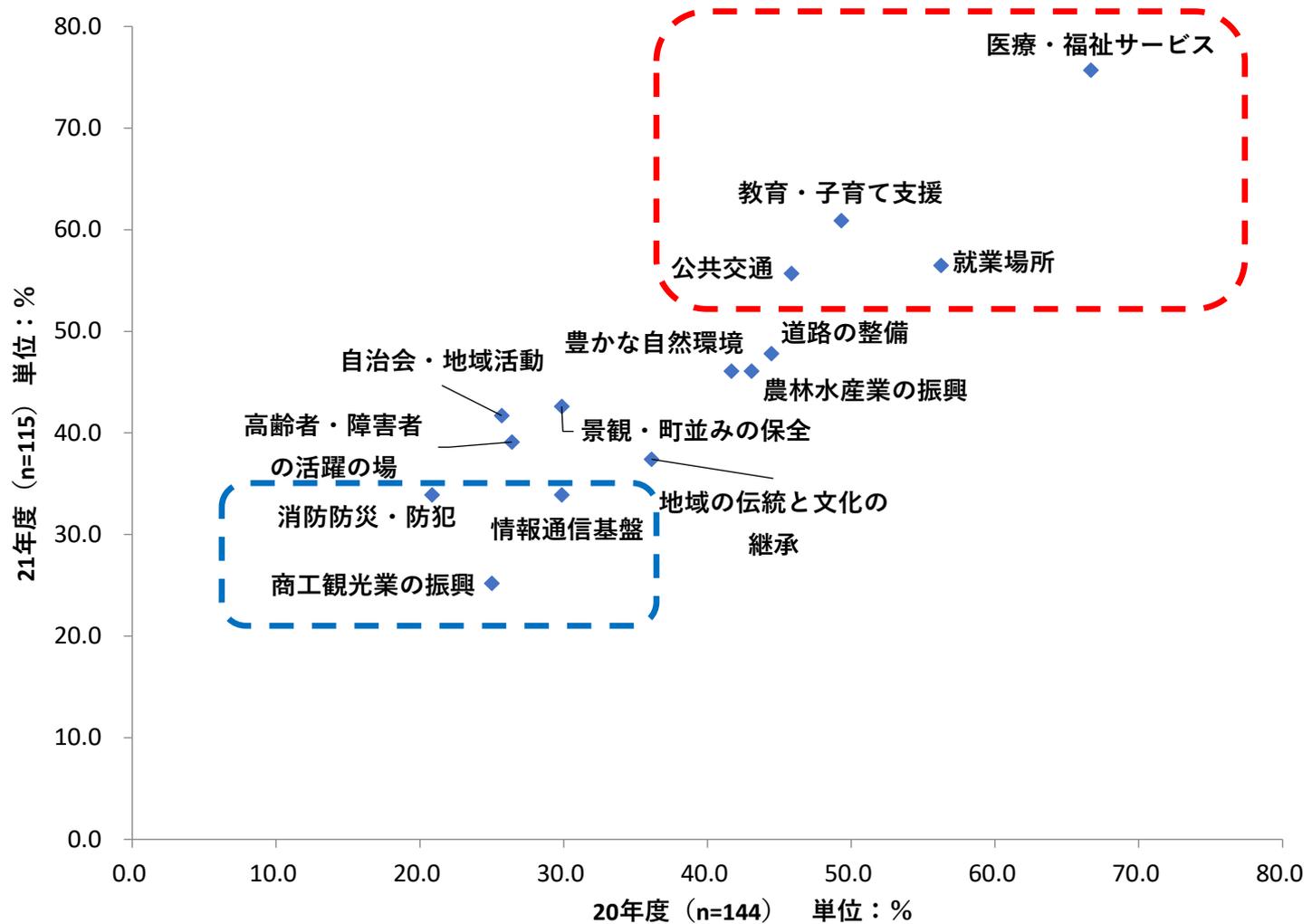
(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差( $p < .05$ )が認められた。)

# ◆ まちづくりに必要なこと① (n=115)

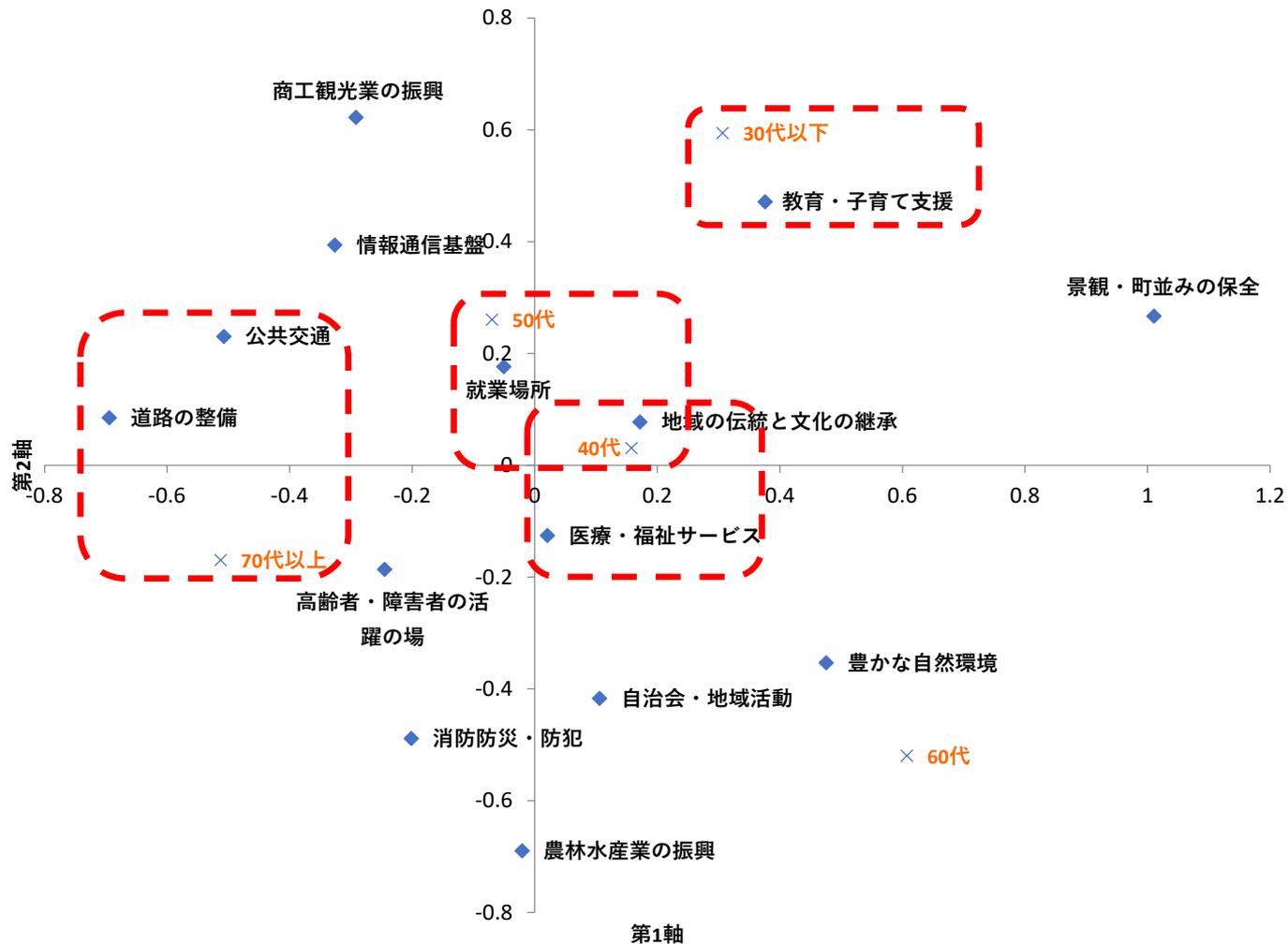




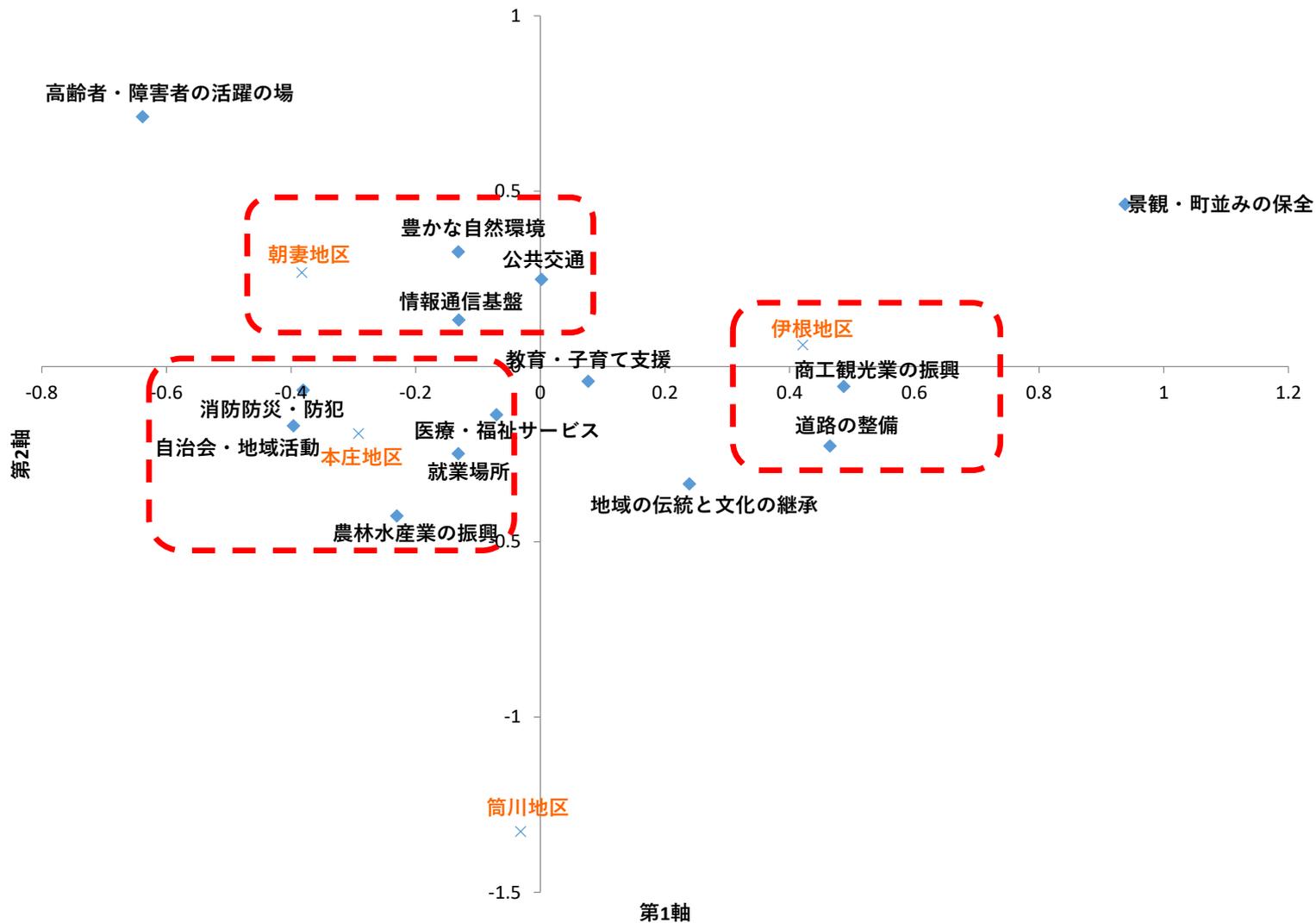
# まちづくりに必要なこと②



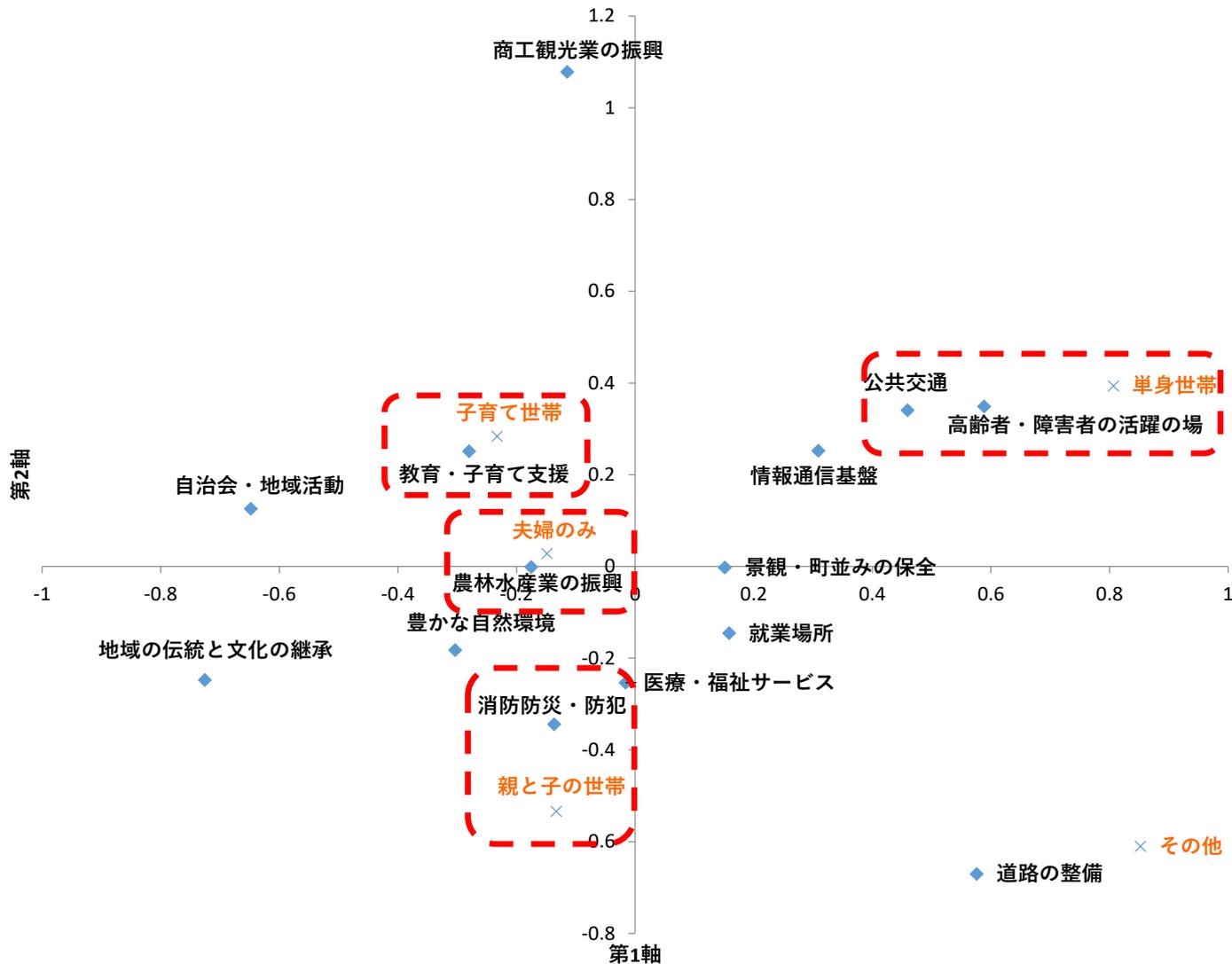
# ◆ まちづくりに必要なこと③



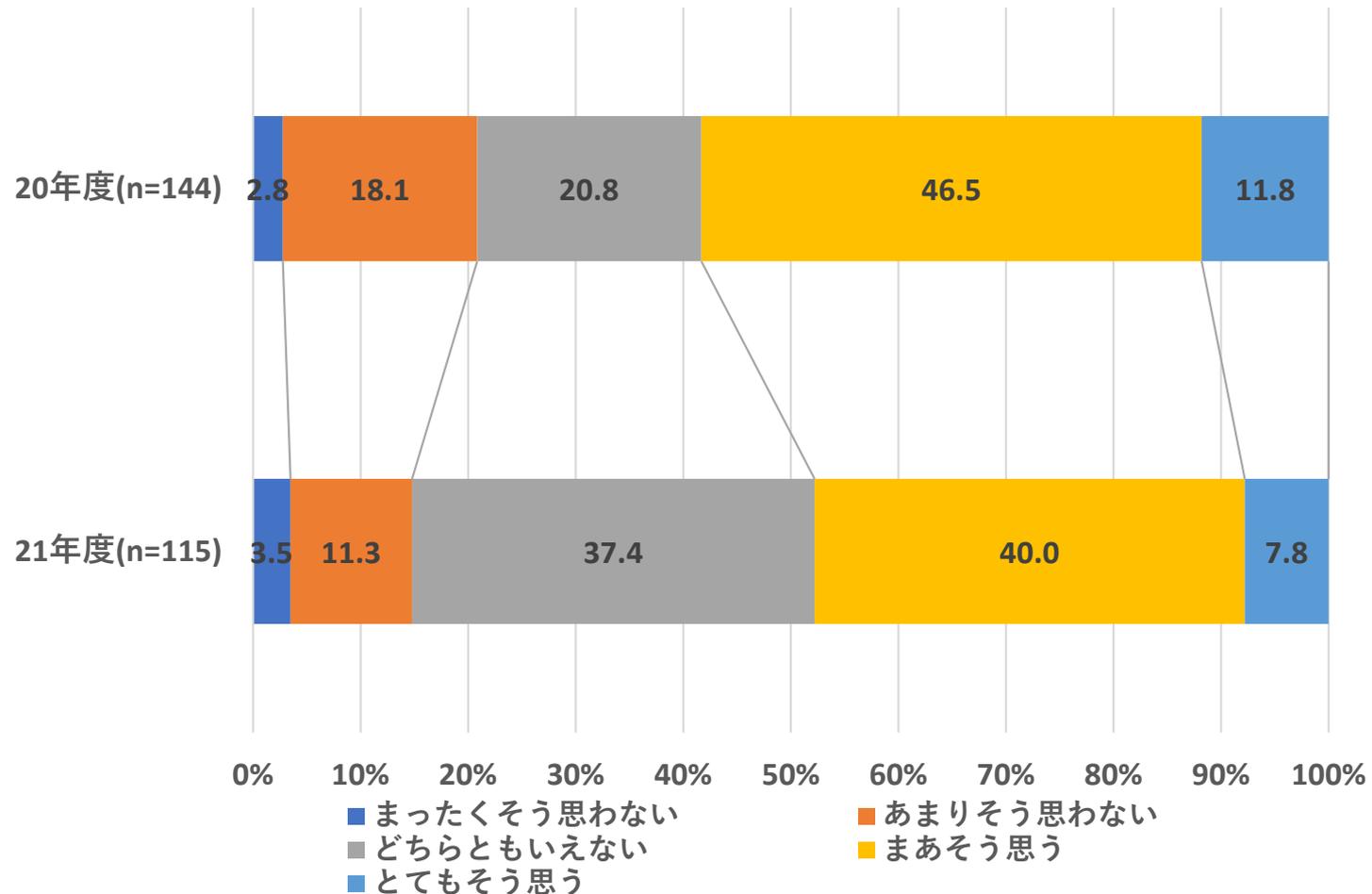
# ◆ まちづくりに必要なこと④



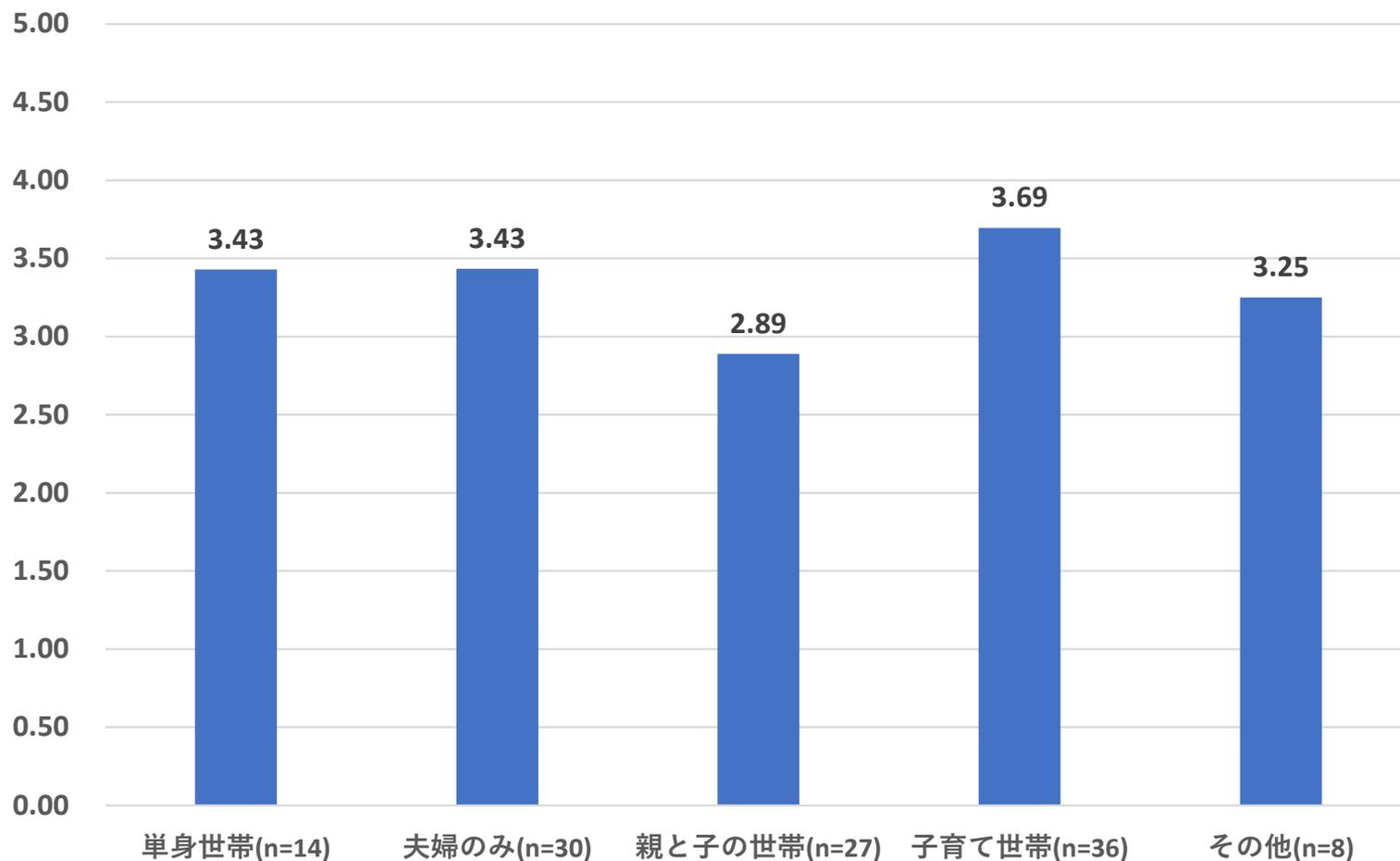
# ◆ まちづくりに必要なこと⑤



# ◆ 伊根町の住みやすさ①

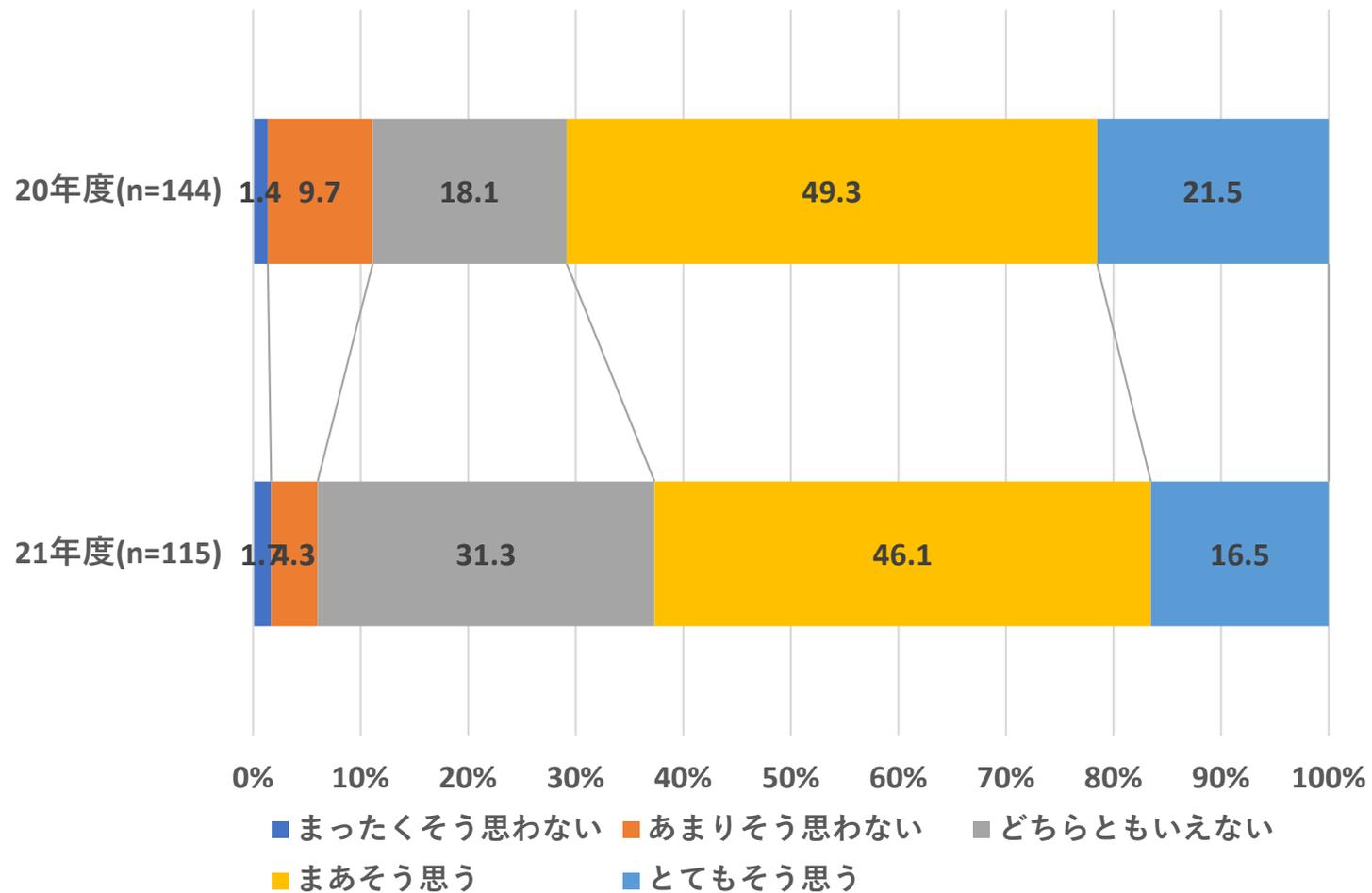


## ◆ 伊根町の住みやすさ②(評価点:5点満点)

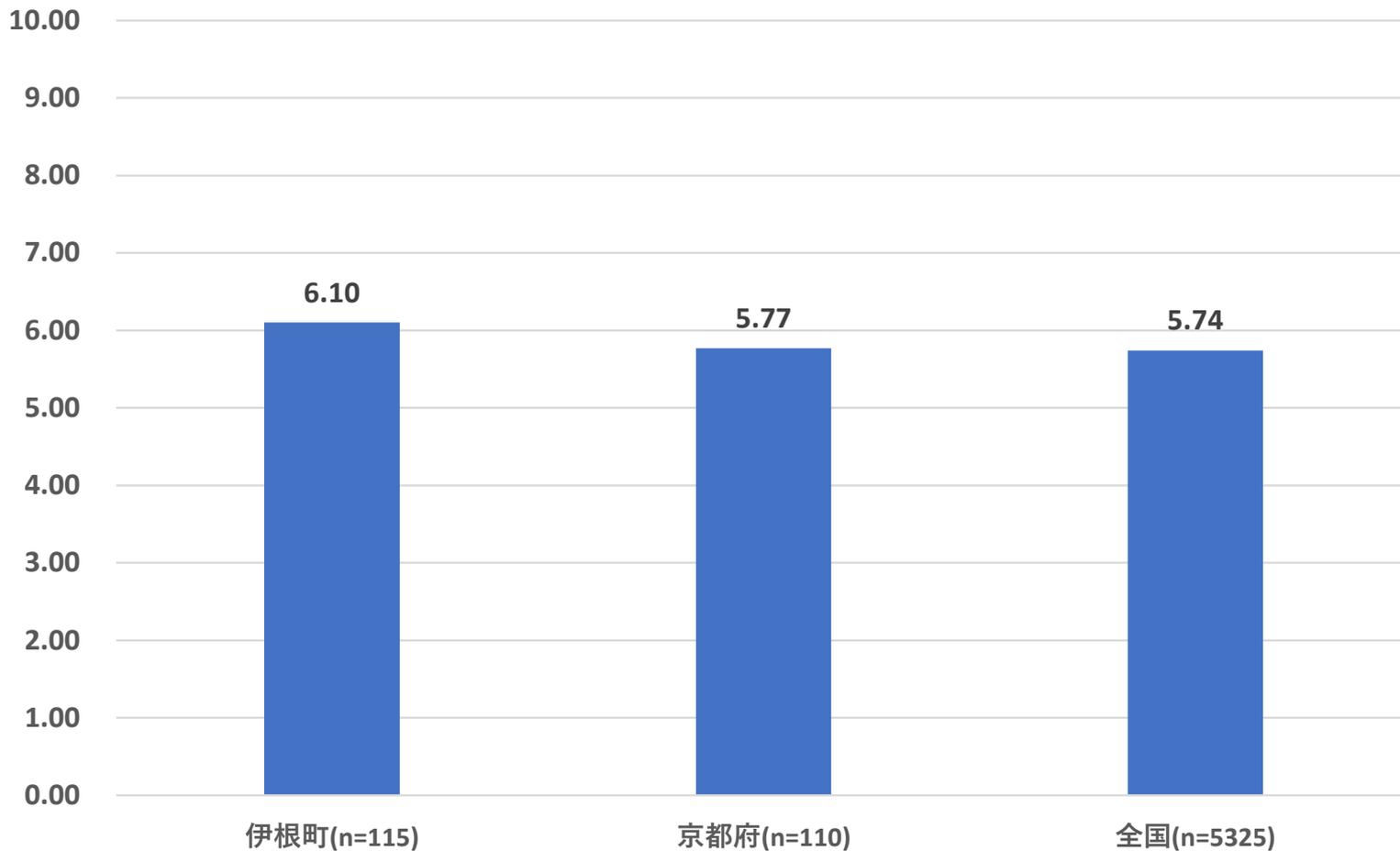


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差 ( $p < .05$ ) が認められた。)

# ◆ 定住意向

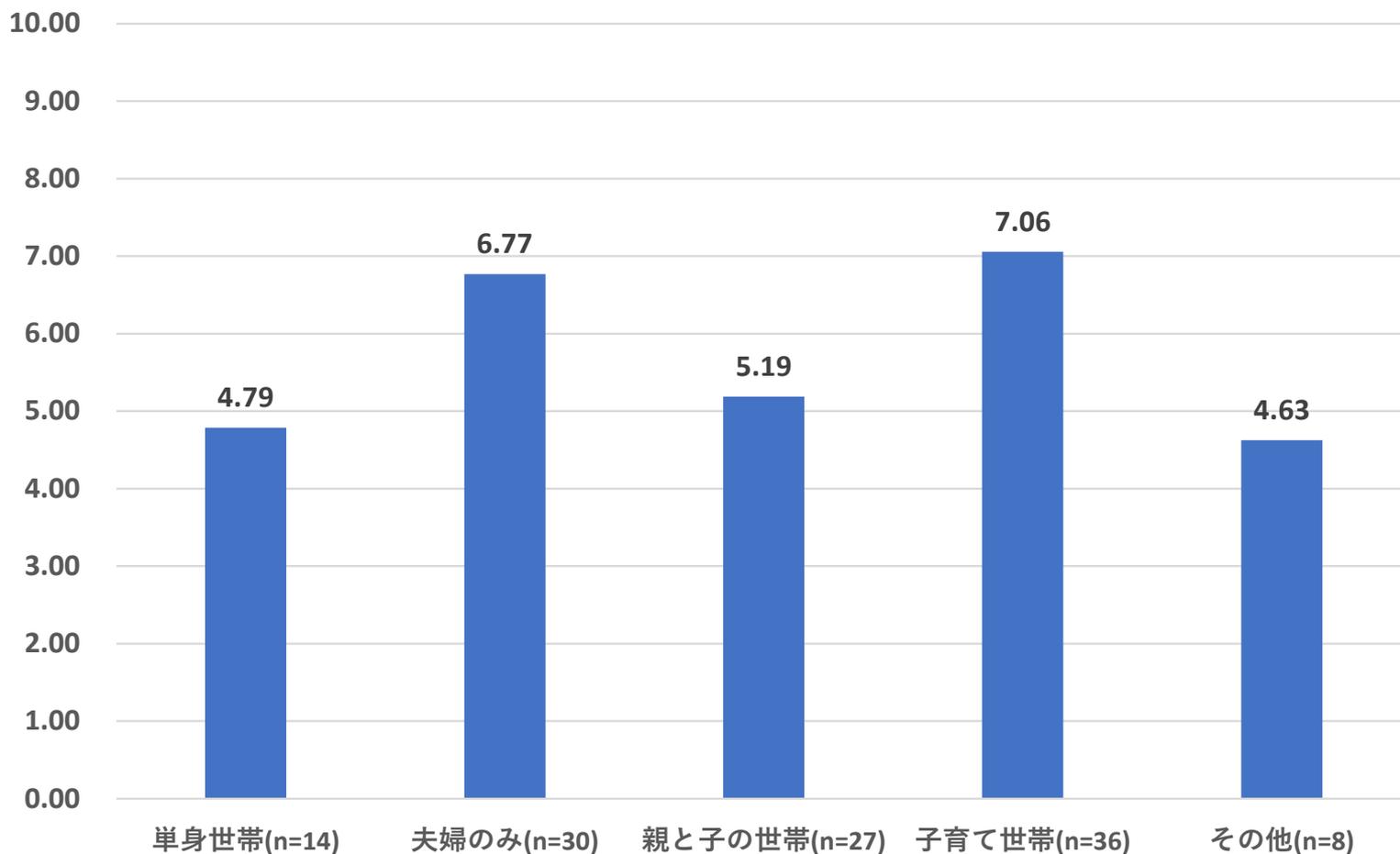


## ◆ 生活の主観的満足度①



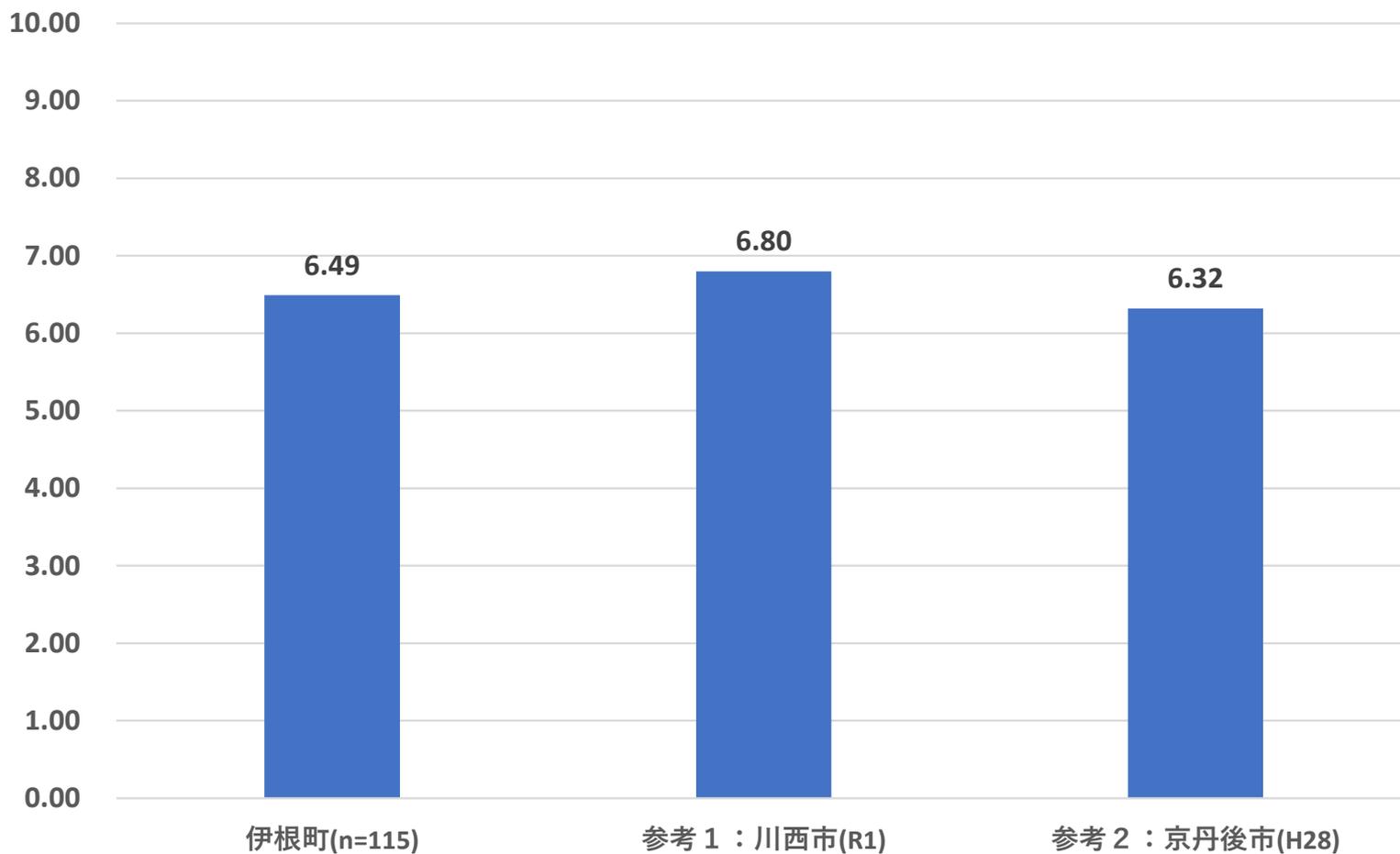
※伊根町(21年9月調査)、京都府・全国(21年3月調査)の結果

## ◆ 生活の主観的満足度② (評価点:10点満点)

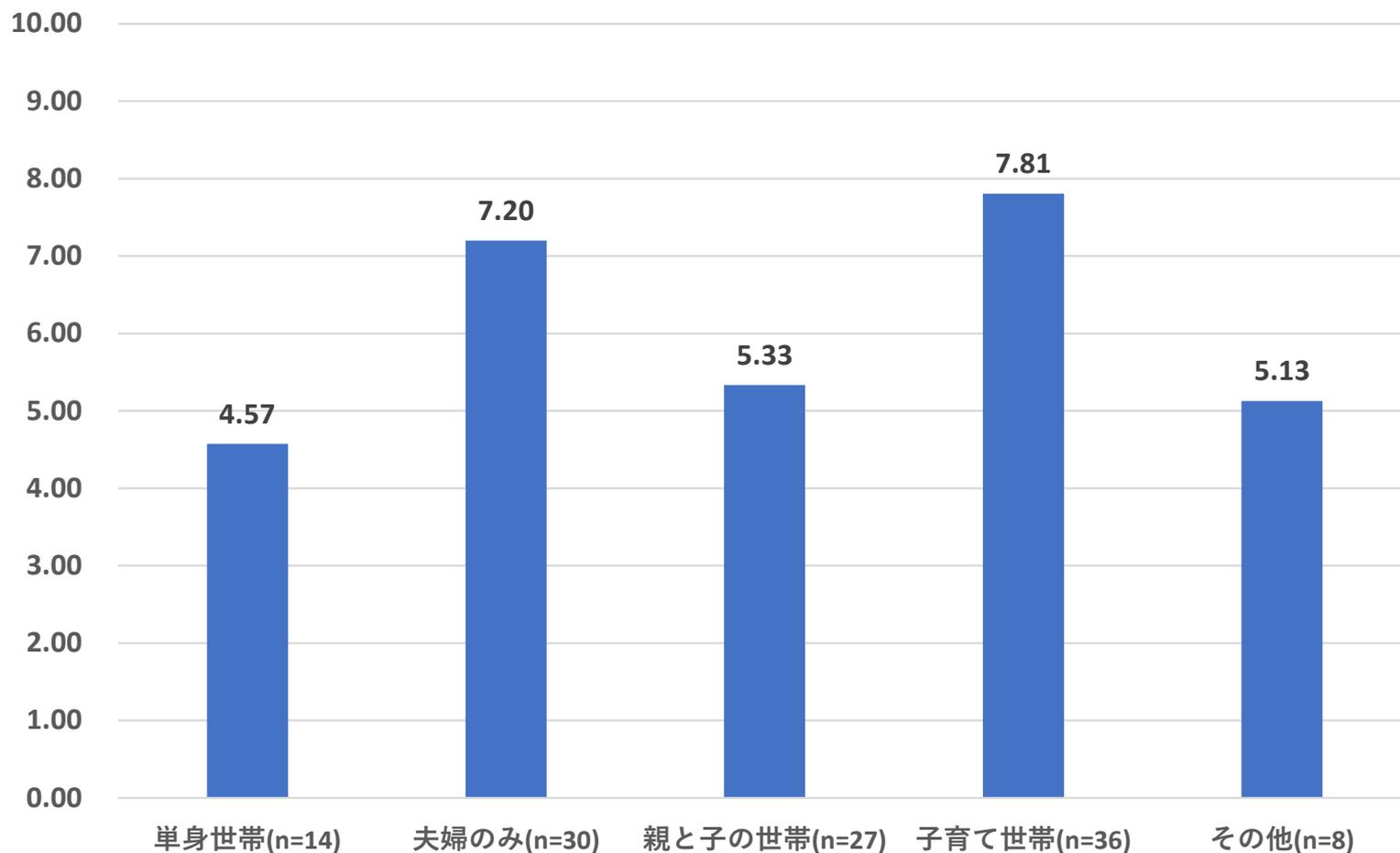


(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差( $p < .001$ )が認められた。)

# ◆ 主觀的幸福感①



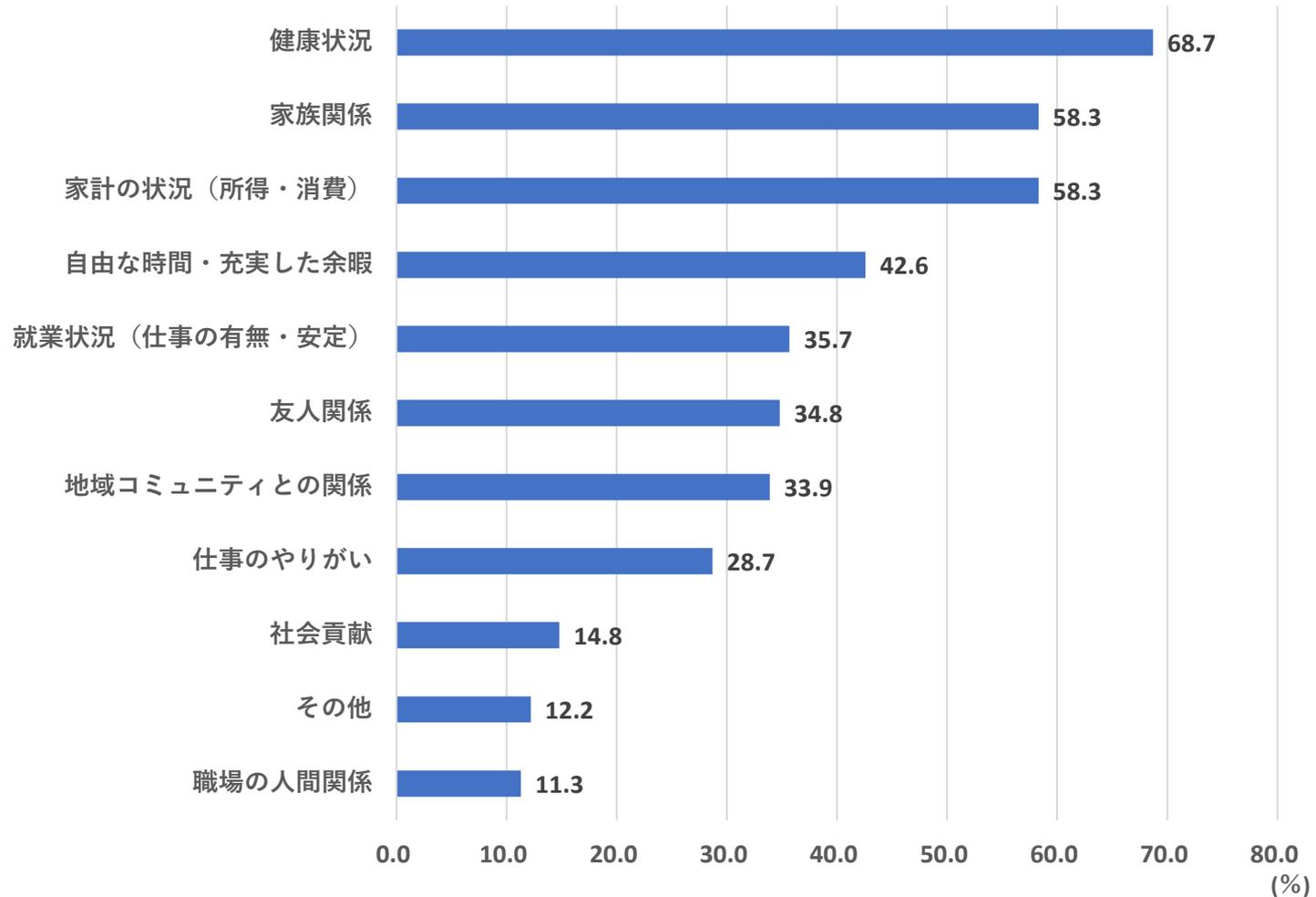
## ◆ 主観的幸福感②(評価点:10点満点)



(クラスカル・ウォリス検定を行った結果、世帯類型の間に有意差 ( $p < .001$ ) が認められた。)



# 幸福感の決定要素① (n=115)



## ◆ 幸福度の決定要素②

世帯類型	家族関係		
	該当	非該当	合計
単身世帯	4	10	14
夫婦のみ	19	11	30
親と子の世帯	12	15	27
子育て世帯	29	7	36
その他	3	5	8
合計	67	48	115

( $\chi$ 二乗検定を行った結果、世帯類型と家族関係との間に有意な連関性( $p < .01$ )が認められた。)

## ◆ 幸福度の決定要素③

年代	就業状況（仕事の有無・安定）		
	該当	非該当	合計
30代以下	10	11	21
40代	7	9	16
50代	12	11	23
60代	3	18	21
70代以上	9	25	34
合計	41	74	115

（ $\chi$  二乗検定を行った結果、年代と就業状況との間に有意な連関性 ( $p < .05$ ) が認められた。）

## ◆ 幸福度の決定要素④

年代	友人関係		
	該当	非該当	合計
30代以下	10	11	21
40代	7	9	16
50代	4	19	23
60代	3	18	21
70代以上	16	18	34
合計	40	75	115

( $\chi$  二乗検定を行った結果、年代と友人関係との間に有意な連関性( $p < .05$ )が認められた。)

## ◆ 幸福度の決定要素⑤

居住地区	仕事のやりがい		
	該当	非該当	合計
伊根地区	11	43	54
朝妻地区	9	21	30
本庄地区	9	18	27
筒川地区	4	0	4
合計	33	82	115

( $\chi$  二乗検定を行った結果、居住地区と仕事のやりがいとの間に有意な連関性 ( $p < .05$ ) が認められた。)

## ◆ 幸福度の決定要素⑥

年代	職場の人間関係		
	該当	非該当	合計
30代以下	7	14	21
40代	2	14	16
50代	1	22	23
60代	2	19	21
70代以上	1	33	34
合計	13	102	115

( $\chi$  二乗検定を行った結果、年代と職場の人間関係との間に有意な連関性( $p < .05$ )が認められた。)